

大阪市新型コロナワクチン接種 事業報告書（続編）

令和6年3月作成

大阪市保健所

感染症対策課(ワクチン接種等調整チーム)

目次

第1	総論	5
1	はじめに	5
2	作成目的	5
3	事業経過	6
第2	新型コロナワクチンの接種概要	8
1	承認ワクチン	8
2	新規陽性者数とワクチン接種数の推移	11
(1)	令和5年5月7日まで	11
(2)	令和5年5月8日以降	11
3	令和5年度におけるワクチン接種状況	12
(1)	令和5年春開始接種の接種状況（令和5年5月8日～9月19日）	12
(2)	令和5年秋開始接種の接種状況（令和5年9月20日～令和6年1月末時点）	13
第3	ワクチンの配分と配送	16
1	ワクチンの配分と納入	16
(1)	ワクチンの配分	16
(2)	集団接種会場への納入	16
(3)	医療機関（基本型施設）への納入	17
(4)	大阪市ワクチン配送センター	18
(5)	個別接種医療機関（サテライト型）及び高齢者施設からのワクチン受注	19
(6)	個別接種医療機関（サテライト型）及び高齢者施設へのワクチン配送	19
2	ディープフリーザー等の取扱い	21
(1)	ディープフリーザー等の配置	21
(2)	ディープフリーザー等の譲渡等	21
第4	接種啓発及び報道対応等	22
1	接種啓発	22
(1)	一般向け情報発信	22
(2)	外国籍の住民や障がいのある方に向けた情報発信	27
2	市長会見による発信や報道発表等	28
3	広聴・情報公開請求	29
(1)	受付状況	29
(2)	市民の声の概要	29
(3)	情報公開請求の概要	30
第5	高齢者施設・障がい者支援施設等における接種	31
1	令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）	31
(1)	接種の進め方	31

(2) 接種対象者	31
(3) 接種券	31
(4) ワクチン配送	31
(5) 大阪府による高齢者施設等における接種促進に向けた取組と連携	31
(6) 福祉局（高齢者施策部）特設チームの構成	31
2 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）	31
(1) 接種の進め方	31
(2) 接種対象者	32
(3) 接種券	32
(4) ワクチン配送	32
(5) 大阪府・本市による高齢者施設等における接種促進に向けた取組	32
(6) 福祉局（高齢者施策部）特設チームの構成	32
第6 集団接種	34
集団接種会場の終了	34
第7 個別接種	35
1 個別接種医療機関及びワクチン配送の変遷	35
(1) ワクチンの発注方法・事務連絡の送付方法の変更	35
(2) 令和5年度新型コロナワクチン接種の実施にかかる意向調査	35
(3) ワクチン等の保管・配送	35
(4) 令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）	36
(5) 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）	36
2 大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金	37
(1) 実施主体の移行	37
(2) 本市における実施体制	37
(3) 大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金交付要綱の制定	38
(4) 実施内容	38
(5) 交付実績	39
3 大阪市コロナワクチンマップ	40
(1) 追加・終了したワクチン種の表示対応	40
(2) 個別接種医療機関における予約空き情報データ入力方法の追加	40
(3) コロナワクチンマップの更新周期変更	40
第8 接種困難者への支援	43
1 高齢者・障がい者支援サービス事業者等との協力	43
2 点字・手話通訳	43
第9 副反応と予防接種健康被害救済制度	44
1 本市における副反応の状況	44
(1) 予防接種後副反応疑い報告	44
(2) 副反応の報告状況	44

2	予防接種健康被害救済制度	49
	(1) 種類・給付額	49
	(2) 請求・進達・認定等の状況（令和6年1月末時点）	49
	(3) 相談・請求窓口	50
	(4) 予防接種健康被害調査委員会	51
第10	包括業務委託の概要	52
1	包括外部業務委託契約	52
	(1) 経過	52
	(2) 契約内容	52
2	接種券の印刷・発送	53
	(1) 令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）	53
	(2) 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）	53
	(3) 要配慮者への対応	54
	(4) 通称名を有する方への接種券の印字	54
3	コールセンター	55
	(1) 業務概要	55
	(2) 業務実施場所	55
	(3) 運営日等	56
	(4) コールセンターでの各種対応	56
	(5) コールセンター実績（令和4年9月～令和6年1月）	57
4	事務処理センター	59
	(1) 事務処理センターの運営	59
	(2) 接種券個別発送事務	61
	(3) 住所地外接種届出済証の発行	65
5	予約システムの運用	66
	(1) 令和4年秋開始接種	66
	(2) 令和5年度接種	66
	(3) 予約システム運用終了に伴う個人情報保護に関する処理	66
6	接種管理システムの運用	67
	(1) システム改修	67
	(2) VRSからの接種記録の取込み	67
	(3) REF（支援）データの取込み	67
	(4) データの活用	68
	(5) 予防接種台帳管理システムとの連携	68
	(6) 住民基本台帳システム端末の返却	69
7	ワクチン発注受付事務局	69
	(1) ワクチン発注受付システムの運用終了	69
	(2) 大阪市行政オンラインシステムの利用に係るサポート	69

8	新型コロナウイルス感染症予防接種証明書	70
	(1) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書発行に係る体制	70
	(2) 法定外の接種の接種証明	71
	(3) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書の交付数の推移	71
第11	VRS	72
	VRSの運用	72
	(1) 特定個人情報保護評価(PIA)	72
	(2) VRSサポートセンターの設置	72
	(3) VRSタブレットの回収	72
第12	トピックスからの振り返り	73
1	令和5年春開始接種(令和5年5月8日～9月19日)	73
2	令和5年秋開始接種(令和5年9月20日～令和6年3月31日)	74
3	高齢者施設における接種実施評価・検証	74
	(1) 開催目的・ゴール	74
	(2) 内容	74
第13	人員体制・予算・市会関係	76
1	令和5年2月～令和6年1月の人員体制	76
2	予算関係	77
3	市会関係	77
	結びに	80

第1 総論

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日に季節性インフルエンザと同等の「5類感染症」に位置づけられ、日常生活における感染対策も緩和された。

新型コロナワクチン接種については、厚生労働大臣による「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」が一部改正され、令和5年3月31日までとされていた特例臨時接種としての実施期間が令和6年3月31日までに延長された。

大阪市では、令和5年5月に開始された「令和5年春開始接種」、令和5年9月に開始された「令和5年秋開始接種」とともに、集団接種会場の設置は行わず、個別医療機関のみでの接種とした。

特例臨時接種については、令和5年11月22日付厚生労働省事務連絡により、新型コロナウイルス感染症の「まん延予防上緊急の必要がある」と認められる状況にはないと考えられるため、令和5年度末で終了することが示された。

今回、令和5年2月以降の「令和5年春開始接種」「令和5年秋開始接種」等について、昨年度作成した新型コロナワクチン接種事業報告書の続編として大阪市での取組を記録する。

2 作成目的

令和5年2月から令和6年1月末までの新型コロナワクチン接種事業実施の記録を作成目的とする。

3 事業経過

新型コロナワクチン接種に係る大阪市の取組と国等の動き

※斜字は国等の動き

日付	主な動向・取組等	主な厚生労働省事務連絡	審議会等
令和5年2月1日	扇町プールの追加接種（3～5回目接種）使用ワクチンの変更 ・オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【モデルナ社】から オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】へ		
2月6日			第43回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
2月8日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年度接種方針及び令和6年度の接種の在り方についての見解が示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その2）」	第52回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会
2月10日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第23回）
2月11日	従来型ワクチン【モデルナ社】の接種を終了（有効期限到来）		
2月20日	やすらぎ天空館での接種を終了		
2月22日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年度の現行特例臨時接種延長、令和5年春開始接種・令和5年秋開始接種等における見解が示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その3）」	第44回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
2月24日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第24回）
2月28日	5歳から11歳までの小児用オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】が薬事承認される		
3月3日	令和5年3月中に接種対象者となる方へ接種券を発送		
3月7日	厚生労働省事務連絡にて、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で了承された令和5年度の現行特例臨時接種延長、令和5年春開始接種・秋開始接種等の内容が示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その4）」	第45回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
3月8日	令和4年秋開始接種に小児用オミクロン株対応2価ワクチン【ファイザー社】を追加		
3月8日	ノバボックス【武田社】による追加接種対象者が「18歳以上の方」から「12歳以上の方」に拡大		
3月9日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第25回）
3月23日			第46回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
3月24日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年度各事業の在庫補助上限額及び特例の経過措置を令和5年8月末までとする旨示される	「令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について」	
3月25日	自衛隊大規模接種会場（大阪北浜会場）【防衛省】での接種を終了 大阪府心斎橋接種センター【大阪府】での接種を終了		
3月26日	扇町プールでの接種を終了【大阪府が設置する集団接種会場は全て終了】		
3月27日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第26回）
3月29日	5歳から11歳までの小児を対象に、オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】の追加接種を開始		
3月31日	5歳から11歳までの小児への追加接種用の接種券発送を開始 従来型ワクチン【ファイザー社及びモデルナ社】の追加接種を終了		
4月19日	令和5年春開始接種用の接種券の発送を開始		
5月7日	令和4年秋開始接種（12歳以上）を終了		
5月8日	令和5年春開始接種施行		
5月29日	個別接種医療機関への配送ワクチンの変更 ・オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】から オミクロン株（BA.1）対応2価ワクチン【ファイザー社】へ		
6月14日	オミクロン株（BA.1）対応2価ワクチン【モデルナ社】の接種を終了		
6月16日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年秋開始接種にはオミクロン株XBB.1系統の成分を含有する1価ワクチンの使用を基本とする旨示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その5）」	第47回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
6月20日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第27回）
8月2日	オミクロン株対応2価ワクチン【ファイザー社】の初回接種の使用が薬事承認される オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【モデルナ社】の6歳以上11歳以下の方への使用が薬事承認される		第48回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
8月4日	厚生労働省事務連絡にて、 ・オミクロン株（BA.1及びBA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】及び 5～11歳用オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】 の成人及び小児への初回接種の使用を可能とする旨示される ・オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【モデルナ社】の6歳以上11歳以下への追加接種の使用を可能とする旨示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その6）」	

新型コロナワクチン接種に係る大阪市の取組と国等の動き

※斜字は国等の動き

日付	主な動向・取組等	主な厚生労働省事務連絡	審議会等
8月7日	初回接種を希望する方に、原則ファイザー社オミクロン株対応2価ワクチンによる接種開始 ・12歳以上はオミクロン株（BA.1及びBA.4-5）対応2価ワクチン ・5～11歳は小児用オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン		
8月7日	オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【モデルナ社】の接種対象年齢を拡大（12歳以上→6歳以上）して接種を開始		
8月9日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年度の追加接種スケジュールが示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その7）」	第49回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
8月10日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第28回）
8月15日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年9月以降の国庫補助上限額及び特別の経過措置を令和5年8月末までとする旨示される	「令和5年9月以降の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について」	
9月1日	令和5年秋開始接種用の接種券の発送開始 オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】薬事承認される		
9月8日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年秋開始接種の接種対象者、使用ワクチン等が示される	「今後の新型コロナワクチン接種について（その8）」	第55回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会 第50回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
9月12日	オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【モデルナ社】薬事承認される		新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第29回）
9月19日	令和4年秋開始接種（5～11歳）終了 令和5年春開始接種終了 ・従来型ワクチン【ファイザー社】の初回接種を終了 ・オミクロン株（BA.1及びBA.4-5）対応2価ワクチン【ファイザー社】の接種を終了 ・オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチン【モデルナ社】の接種を終了 令和5年秋開始接種施行 ・高齢者施設等にてオミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】接種を開始		第51回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
9月20日	初回接種に使用するワクチンの変更 ・12歳以上はオミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】 ・5～11歳は小児用オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】 ・6か月～4歳は乳幼児用オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】		
9月25日	個別接種医療機関にてオミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】接種を開始 個別接種医療機関にてオミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【モデルナ社】接種を開始		
10月4日	個別接種医療機関にて小児用（5～11歳）オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】接種を開始		
10月11日	個別接種医療機関にて乳幼児用（6か月～4歳）オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【ファイザー社】接種を開始		
10月24日	オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【モデルナ社】の6か月以上の方への初回接種の使用が薬事承認される		
10月26日			第52回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
11月1日	個別接種医療機関にてオミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【モデルナ社】の初回接種を開始		
11月17日	厚生労働省事務連絡にて、第一三共社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）が薬事承認されることを前提に配送スケジュールが示される	「第一三共社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の接種体制の構築、配送等について」	
11月22日	厚生労働省事務連絡にて、令和5年度末までの特別臨時接種終了、令和6年度以降のワクチン接種方針（接種目的・対象者、接種時期、使用ワクチン）が示される	「令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種について」	第57回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会 第53回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
11月27日	オミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【第一三共社】薬事承認される		新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第30回）
11月29日			第54回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会
12月1日	厚生労働省事務連絡にて、令和6年1月以降の国庫補助上限額が示される	「令和6年1月以降の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について」	
12月4日	個別接種医療機関にてオミクロン株（XBB.1.5）対応1価ワクチン【第一三共社】の接種を開始		
12月11日			新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第31回）
12月13日	特別臨時接種が令和5年度末にて終了することと、ワクチン保管期間を踏まえ令和6年2月5日の週配送ワクチンをもってワクチン通常配送を終了する旨、個別接種医療機関あて事務連絡発出		
12月25日	ノババックス【武田社】の接種を終了（有効期限到来）		新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第32回）

第2 新型コロナウイルスワクチンの接種概要

本市における接種概要を次のとおりまとめた。

1 承認ワクチン

表1 従来型ワクチンの各社情報

新型コロナウイルスワクチン（従来型）の特性							
	ファイザー社 (12歳以上)	ファイザー社 (5～11歳)	ファイザー社 (6か月～4歳)	モデルナ社	アストラゼネカ社	武田社 (ノババックス)	
回数	1・2回目	21日間隔で2回	21日間隔で2回	・21日間隔で2回	28日間隔で2回	4～12週間の間隔で2回	21日間隔で2回
	3回目	1回	1回	・55日以上の間隔をおいて1回	1回	—	1回
	4回目	1回	—	—	1回	—	1回
	5回目	—	—	—	—	—	1回
	希釈	1.8mLで希釈	1.3mLで希釈	2.2mLで希釈	希釈不要	希釈不要	希釈不要
接種量	毎回0.3mL	毎回0.2mL	毎回0.2mL	(初回) 毎回0.5mL (追加) 0.25mL	(初回) 毎回0.5mL	毎回0.5mL	
1バイアルの単位	6回分(特殊な針・シリンジ) 5回分(一般的な針・シリンジ)	10回分	10回分	(初回) 10回分 (追加) 15回以上	10回分	10回分	
最小流通単位 (一度に接種会場に 配送される最小の数量)	195バイアル (特殊な針・シリンジを用いる場合は1,170回分、一般的な針・シリンジを用いる場合は975回分)	10バイアル (100回接種分)	10バイアル (100回接種分)	10バイアル (初回:100回接種分) (追加:150回以上接種分)	2バイアル (20回接種分)	1バイアル (10回接種分)	
保管温度	-75°C±15°C:24か月 -20°C±5°C:14日 ※なお、1回に限り、再度-90°C ～-60°Cに戻し保存可。 2～8°C:1か月	-75°C±15°C:24か月 2～8°C:10週間	-75°C±15°C:24か月 2～8°C:10週間	-20°C±5°C:12か月 2～8°C:30日 ※12か月の有効期間中に 限る	2～8°C:6か月	2～8°C:14か月	
備考	・冷蔵庫で解凍する場合は、 解凍及び希釈を1か月以内 に行う ・室温で解凍する場合は、 解凍及び希釈を12時間以内 に行う ・希釈後、室温で6時間	・冷蔵庫で解凍する場合は、 冷蔵庫で10週間。使用前、 室温で24時間(希釈後は12 時間以内) ・室温で解凍する場合は:24 時間(希釈後は12時間以 内) (解凍後の再凍結は不可)	・冷蔵庫で解凍する場合は、 冷蔵庫で10週間。使用前、 室温で24時間(希釈後は12 時間以内) ・室温で解凍する場合は:24 時間(希釈後は12時間以 内) (解凍後の再凍結は不可)	(一度針をさしたも の以降) 2～25°Cで12時間 (解凍後の再凍結は 不可)	(一度針をさしたも の以降) ・室温で6時間 ・2～8°Cで48時間	(一度針をさしたも の以降) 2～25°Cで12時間	

表2 オミクロン株対応(2価ワクチン)の各社情報

オミクロン株に対応した2価ワクチンの特性			
	ファイザー社 (オリジナル株/BA.1株、オリジナル株/BA.4-5 株の2価ワクチン) 【12歳以上用】	ファイザー社 (オリジナル株/BA.4-5株の2価ワクチン) 【5～11歳用】	モデルナ社 (オリジナル株/BA.1株、オリジナル株/BA.4-5 株の2価ワクチン)
回数	3回目以降	1回	1回
希釈	希釈不要	1.3mLで希釈	希釈不要
接種量	0.3mL	0.2mL	0.5mL (令和5年8月7日以降6～11歳は0.25mL)
1バイアルの単位	6回分(特殊な針・シリンジ)	10回分	5回分 (令和5年8月7日以降6～11歳は10回分)
最小流通単位 (一度に接種会場に配送される最小 の数量)	195バイアル (特殊な針・シリンジを用いる場合は1,170回接種分)	10バイアル (100回接種分)	10バイアル (50回接種分) (令和5年8月7日以降6～11歳は100回接種分)
保管温度	-75°C±15°C:24か月 -20°C±5°C:不可 2～8°C:10週間	-75°C±15°C:24か月 2～8°C:10週間	-20°C±5°C:12か月 2～8°C:30日 ※9か月の有効期間中に限る
備考	・室温で24時間以内に使用する (一度針をさした後は12時間以内に使用、解凍後 の再凍結は不可)	・冷蔵庫で解凍する場合は:冷蔵庫で10週間。使用 前、室温で24時間(希釈後は12時間以内) ・室温で回答する場合は:24時間(希釈後は12時間 以内)	(一度針をさしたものの以降) 2～25°Cで12時間 (解凍後の再凍結は不可)

表3 オミクロン株対応（1価ワクチン）の各社情報

オミクロン株に対応した1価コロナワクチンの特性					
	モデルナ社 (XBB.1.5)	ファイザー社 (XBB.1.5) 【12歳以上】	ファイザー社 (XBB.1.5) 【5～11歳】	ファイザー社 (XBB.1.5) 【6か月～4歳】	第一三共社 (XBB.1.5)
初回接種	4週間隔で2回	3週間隔で2回	3週間隔で2回	・3週間隔で2回 ・55日以上の間隔を置いて1回	—
追加接種	3回目以降1回	3回目以降1回	3回目以降1回	4回目以降1回	3回目以降1回
希釈	希釈不要	希釈不要	1.3mLで希釈	2.2mLで希釈	希釈不要
接種量	初回接種 1.0mL (6～11歳は毎回0.5mL) (生後6か月～5歳は0.25mL)	毎回0.3mL	毎回0.2mL	毎回0.2mL	0.6mL
	追加接種 毎回0.5mL (6～11歳は0.25mL)				
1バイアルの単位	5回分 (6～11歳は10回分)	6回分 (特殊な針・シリンジ)	10回分 (特殊な針・シリンジ)	10回分 (特殊な針・シリンジ)	2回分
最小流通単位 (一度に接種会場に配達される最小の数量)	10バイアル (50回接種分 (6～11歳は100回分))	120バイアル (720回接種分)	10バイアル (100回接種分)	10バイアル (100回接種分)	2バイアル (4回接種分)
保管温度	-20°C±5°C：12か月 2～8°C：30日 ※12か月の有効期間中に限る	-75°C±15°C：18か月 -20°C±5°C：不可 2～8°C：10週間	-75°C±15°C：18か月 -20°C±5°C：不可 2～8°C：10週間	-75°C±15°C：18か月 -20°C±5°C：不可 2～8°C：10週間	(凍結を避け) 2～8°C：7か月
備考	(一度針をさしたものを以降) 2～25°Cで12時間 (解凍後の再凍結は不可)	・室温では24時間以内に使用する (一度針を刺した後は12時間以内に使用、解凍後の再冷凍は不可)	・室温では24時間以内に使用する (一度針を刺した後は12時間以内に使用、解凍後の再冷凍は不可)	・室温では24時間以内に使用する (一度針を刺した後は12時間以内に使用、解凍後の再冷凍は不可)	・常温にした後、1回に限り冷蔵庫に戻し保存することが可能 ・一度針を刺したバイアルは2～8°Cで保存し、24時間以内に使用する

図1-1 各ワクチンの対象年齢の変遷

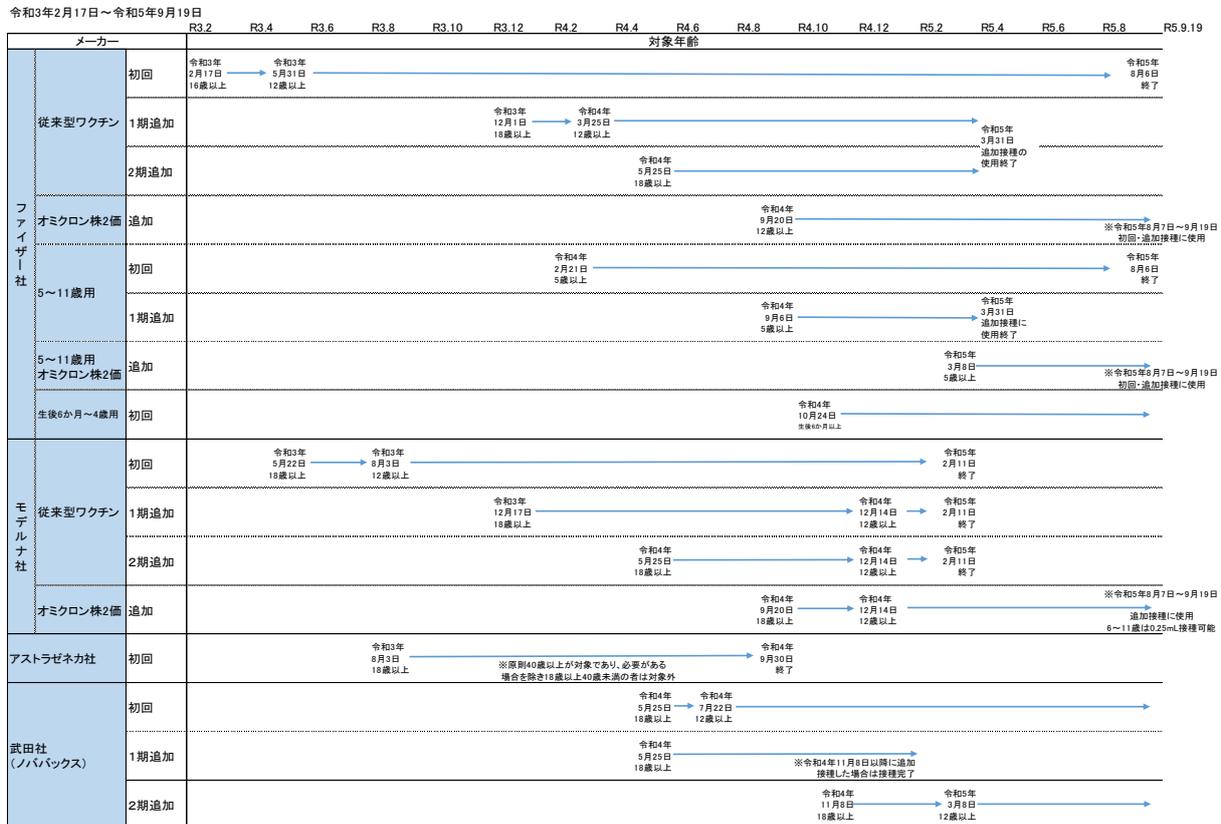


図1 - 2各ワクチンの対象年齢の変遷

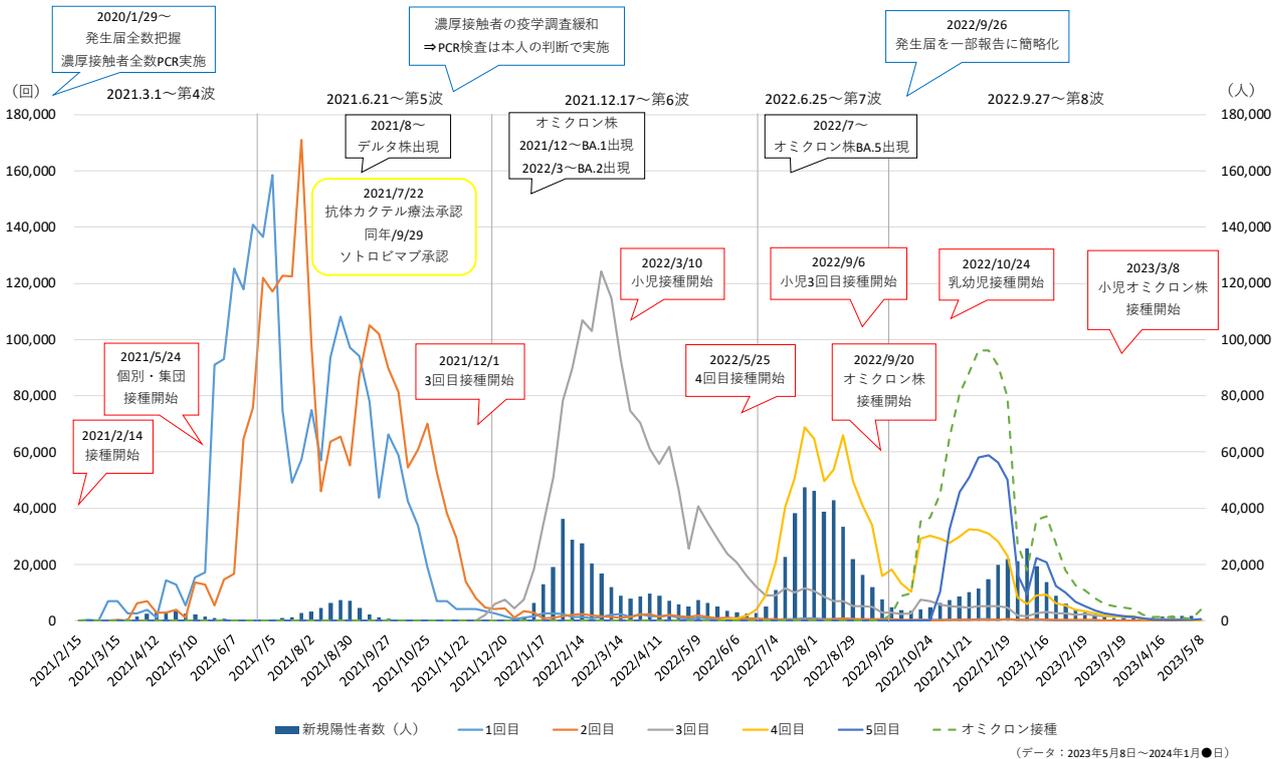
令和5年9月20日～

メーカー				R5.9.20	R5.10	R5.12	
ファイザー社	オミクロン株1価	初回・追加		令和5年 9月20日 12歳以上	→		
	5～11歳用 オミクロン株1価	初回・追加		令和5年 9月20日 5歳以上	→		
	生後6か月～4歳用 オミクロン株1価	初回・追加		令和5年 9月20日 生後6か月以上	→		
モデルナ社 オミクロン株1価		初回			令和5年11月1日 12歳以上1.0mL 6～11歳0.5mL	→	
		追加		令和5年 9月25日 12歳以上0.5mL 6～11歳0.25mL	→		
武田社 (ノババックス)		初回	令和4年 5月25日 18歳以上	→	令和4年 7月22日 12歳以上	→	令和5年 12月25日 終了
		追加			令和5年 3月8日 12歳以上	→	令和5年 12月25日 終了
第一三共社 オミクロン株1価		追加			令和5年 12月4日 12歳以上	→	

2 新規陽性者数とワクチン接種数の推移

(1) 令和5年5月7日まで

図2 新規陽性者数とワクチン接種数（週ごと）

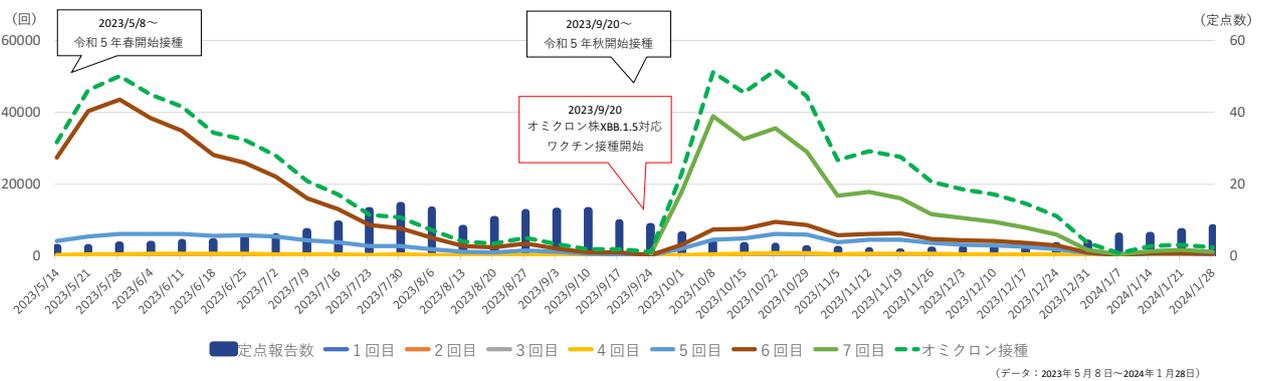


※定点当たり報告数：令和5年5月8日より感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）上の位置付けが5類感染症となり、定点医療機関による定点報告に変更されました。
 定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数。
 ※定点医療機関：定点把握対象の五類感染症について患者数の報告を依頼している医療機関（人口及び医療機関の分布等を勘案し、できるだけ市全体の発生状況を把握できるよう選出）

(2) 令和5年5月8日以降

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日から感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）上の位置付けが5類感染症となり、定点医療機関による定点報告に変更された。1週間を調査単位としてCOVID-19と診断された患者の報告数とワクチン接種数を下図のとおり集計した。

図3 定点当たり報告数とワクチン接種数（週ごと）



※定点当たり報告数：令和5年5月8日より感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）上の位置付けが5類感染症となり、定点医療機関による定点報告に変更されました。
 定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数。
 ※定点医療機関：定点把握対象の五類感染症について患者数の報告を依頼している医療機関（人口及び医療機関の分布等を勘案し、できるだけ市全体の発生状況を把握できるよう選出）

3 令和5年度におけるワクチン接種状況

令和6年1月31日までにVRS: Vaccination Record System (以下「VRS」という。)へ登録されている接種数等は次のとおりである。

[注釈]

- ・ 接種数及び接種率は首相官邸の算定方法に準じる。
- ・ 分母となる人口は、全市民は総務省「令和4年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)」の5歳階級別人口。(接種対象外の人口を含む。)
- ・ ただし、0.5～4歳の人口は0～4歳階級の人口に9/10を乗じ、5～11歳の人口のうち10・11歳は10～14歳階級の人口に2/5を乗じ、12～14歳の人口は10～14歳階級の人口に3/5を乗じたもの

(1) 令和5年春開始接種の接種状況(令和5年5月8日～9月19日)

表4 接種数(回)

人口	(人)	3回目	4回目	5回目	6回目	計
大阪市全人口	2,732,197	1,186	6,004	65,175	323,300	395,665
うち65歳以上	684,998	445	2,854	40,664	282,719	326,682

表5 接種率(%)

	3回目	4回目	5回目	6回目	計
大阪市全人口	0.04	0.22	2.39	11.83	14.48
うち65歳以上	0.06	0.42	5.94	41.27	47.69

表6 ワクチン別接種数(回)

ワクチン種類	3回目	4回目	5回目	6回目	計
ノババックス	18	23	62	99	202
ファイザーオミクロン	870	5,208	62,446	311,251	379,775
モデルナオミクロン	87	321	2,651	11,950	15,009
小児ファイザーオミクロン	211	451	16	—	678
小児モデルナオミクロン	0	1	—	—	1
計	1,186	6,004	65,175	323,300	395,665

[注釈]

- ・ 接種数は転出者・死亡者等を含む、VRSの大阪市領域にある全接種記録。ただし速報値のため、他の集計と若干の差異が生じることがある
- ・ 予防接種実施規則に整合しない入力誤り及び間違い接種と考えられるVRSの接種記録は示していない(12件)

注) ワクチン種類

ノババックス：武田社ワクチン（ノババックス）

乳幼児ファイザー：5～11歳用従来型ファイザー社ワクチン

ファイザーオミクロン：オミクロン株 BA 系統対応ファイザー社ワクチン

モデルナオミクロン：オミクロン株 BA 系統対応モデルナ社ワクチン

小児ファイザーオミクロン：5～11歳用オミクロン株 BA 系統対応ファイザー社ワクチン

小児モデルナオミクロン：6～11歳対象量オミクロン株 BA 系統対応モデルナ社ワクチン

表7 性別接種数（回）

性別	3回目	4回目	5回目	6回目	計
男性	545	2,544	28,766	135,884	167,739
女性	640	3,460	36,409	187,416	227,925
その他	1	0	0	0	1
計	1,186	6,004	65,175	323,300	395,665

〔注釈〕年齢の「その他」はVRSに年齢不明として登録されている方

表8 年代別接種数（回）

対象	3回目	4回目	5回目	6回目	計
5～11歳	187	397	14	—	598
12～17歳	40	75	94	—	209
18～29歳	162	523	1,513	1,301	3,499
30～39歳	101	449	2,340	2,876	5,766
40～49歳	78	479	4,187	5,949	10,693
50～59歳	99	724	9,511	13,296	23,630
60～64歳	37	340	5,495	11,777	17,649
65歳以上	445	2,854	40,664	282,719	326,682
その他	37	163	1,357	5,382	6,939
計	1,186	6,004	65,175	323,300	395,665

〔注釈〕年齢の「その他」はVRSに年齢不明として登録されている方

(2) 令和5年秋開始接種の接種状況（令和5年9月20日～令和6年1月末時点）

表9 接種数：（回）

人口	（人）	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	計
大阪市全人口	2,741,587	1,137	6,513	52,508	77,360	257,551	395,069
うち65歳以上	678,989	290	1,535	10,231	50,502	231,121	293,679

表 10 接種率 (%)

	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	計
大阪市全人口	0.04	0.24	1.92	2.82	9.39	14.41
うち 65 歳以上	0.04	0.23	1.51	7.44	34.04	43.25

表 11 ワクチン別接種数 (回)

ワクチン種類	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	計
ノババックス	21	49	116	26	13	225
第一三共 XBB	4	6	59	35	47	151
ファイザーXBB	861	5,258	46,664	71,332	239,244	363,359
モデルナ XBB	113	555	5,363	5,956	18,246	30,233
小児ファイザーXBB	136	351	303	11	1	802
小児モデルナ XBB	2	9	3	—	—	14
乳幼児ファイザーXBB	—	285	—	—	—	285
計	1,137	6,513	52,508	77,360	257,551	395,069

〔注釈〕

- ・ 接種数は転出者・死亡者等を含む、VRS の大阪市領域にある全接種記録。ただし速報値のため、他の集計と若干の差異が生じることがある
- ・ 予防接種実施規則に整合しない入力誤り及び間違い接種と考えられる VRS の接種記録は示していない (224 件)

注) ワクチン種類

ノババックス：武田社ワクチン（ノババックス）
 第一三共 XBB：オミクロン株 XBB. 1.5 対応第一三共社ワクチン
 ファイザーXBB：オミクロン株 XBB. 1.5 対応ファイザー社ワクチン
 モデルナ XBB：オミクロン株 XBB. 1.5 対応モデルナ社ワクチン
 小児ファイザーXBB：5～11 歳用オミクロン株 XBB. 1.5 対応ファイザー社ワクチン
 小児モデルナ XBB：6～11 歳対象量オミクロン株 XBB. 1.5 対応モデルナ社ワクチン
 乳幼児ファイザーXBB：5～11 歳用オミクロン株 XBB. 1.5 対応ファイザー社ワクチン

表 12 性別接種数 (回)

秋開始接種	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	計
男性	529	2,827	22,024	33,042	109,039	167,461
女性	606	3,682	30,477	44,304	148,466	227,535
その他	2	4	7	14	46	73
計	1,137	6,513	52,508	77,360	257,551	395,069

〔注釈〕年齢の「その他」は VRS に年齢不明として登録されている方

表 13 年代別接種数 (回)

対象	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	計
6か月～4歳	—	270	—	—	—	270
5～11歳	127	361	290	11	—	789
12～17歳	130	545	1,081	45	0	1,801
18～29歳	175	700	3,105	1,026	701	5,707
30～39歳	129	728	4,686	1,863	1,798	9,204
40～49歳	112	801	8,726	3,644	4,153	17,436
50～59歳	122	1,106	17,193	8,810	9,591	36,822
60～64歳	43	427	7,061	11,046	8,761	27,338
65歳以上	290	1,535	10,231	50,502	231,121	293,679
その他	9	40	135	413	1,426	2,023
計	1,137	6,513	52,508	77,360	257,551	395,069

〔注釈〕 年齢の「その他」は VRS に年齢不明として登録されている方

第3 ワクチンの配分と配送

1 ワクチンの配分と納入

(1) ワクチンの配分

国が各都道府県にワクチンを配分したのち、府が府内市町村の配分量を調整する。本市分として決定された配分量については、府から配分クールごとに配分通知を受けた。

表1 令和3年4月から令和5年12月までの府（国）から本市に対するワクチン種別配分量（回分）

ワクチンの種別	回分
ファイザー社（従来型）	4,323,150
ファイザー社（BA. 1 オミクロン株対応）	567,450
ファイザー社（BA. 4/5 オミクロン株対応）	1,364,220
ファイザー社（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	828,000
ファイザー社 5～11歳（従来型）	188,700
ファイザー社 5～11歳（BA. 4/5 オミクロン株対応）	9,400
ファイザー社 5～11歳（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	14,000
ファイザー社 生後6か月～4歳（従来型）	76,000
ファイザー社 生後6か月～4歳（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	8,600
モデルナ社（従来型）	1,255,050
モデルナ社（BA. 1 オミクロン株対応）	171,900
モデルナ社（BA. 4/5 オミクロン株対応）	77,500
モデルナ社（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	101,600
武田社（ノババックス）	45,660
アストラゼネカ社	47,900
第一三共社（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	7,380

(2) 集団接種会場への納入

国（地域卸）から直送納入又は大阪市ワクチン配送センターから必要量を集団接種実施期間中（令和3年5月から令和5年3月26日まで）納入した。

表2 令和3年5月から令和5年3月までの集団接種会場におけるワクチン種別納入量(回分)

ワクチンの種別(会社名)	1・2回目接種	3回目接種	4回目接種	5回目接種
ファイザー社 (従来型)	← 448,682 (配送センターより) →			
ファイザー社 (BA.1オミクロン株対応)		← 実施なし →		
ファイザー社 (BA.4/5オミクロン株対応)		← 24,000 (配送センターより) →		
ファイザー社 5～11歳 (従来型)	← 実施なし →			
ファイザー社 5～11歳 (BA.4/5オミクロン株対応)		← 実施なし →		
ファイザー社 生後6か月～4歳 (従来型)	実施なし			
モデルナ社 (従来型)	478,400 (国(地域卸)より)	← 423,510 → (国・配送センターより) (配送センターより)		
モデルナ社 (BA.1オミクロン株対応)		← 114,340 (配送センターより) →		
モデルナ社 (BA.4/5オミクロン株対応)		← 35,050 (配送センターより) →		
武田社(ノババックス)	実施なし		14,000 (国(地域卸)より)	
アストラゼネカ社	47,900 (国(地域卸)より)			

※モデルナ社ワクチンについては、3回目接種時期の途中から小分け配送が可能となったため、配送センターからの納入へ切り替えた。

(3) 医療機関(基本型施設)への納入

医療機関に対して基本型施設として接種を行うか希望を募り、本市へのワクチン配分量、ワクチン種及び各医療機関の体制等を考慮し、令和5年12月11日時点で、ファイザー社ワクチン5施設、モデルナ社ワクチン71施設、武田社ワクチン(ノババックス)111施設、第一三共社ワクチン37施設を本市の基本型施設とした。本市ではこれらの施設(武田社ワクチン(ノババックス)施設を除く)に対して電話又はメールにより納入量の調整を行い、本市がワクチン接種円滑化システム(V-SYS)に発注登録することで、国から各医療機関へワクチンが納入された。

表3 令和3年4月から令和5年12月までの基本型施設におけるワクチン種別
納入量（回分）

ワクチンの種別	回分
ファイザー社（従来型）	92,430
ファイザー社（BA.1 オミクロン株対応）	4,680
ファイザー社（BA.4/5 オミクロン株対応）	15,210
ファイザー社（XBB.1.5 オミクロン株対応）	12,240
ファイザー社 5～11歳（従来型）	取扱いなし
ファイザー社 5～11歳（BA.4/5 オミクロン株対応）	取扱いなし
ファイザー社 5～11歳（XBB.1.5 オミクロン株対応）	取扱いなし
ファイザー社 生後6か月～4歳（従来型）	取扱いなし
ファイザー社 生後6か月～4歳（XBB.1.5 オミクロン株対応）	取扱いなし
モデルナ社（従来型）	127,350
モデルナ社（BA.1 オミクロン株対応）	2,300
モデルナ社（BA.4/5 オミクロン株対応）	850
モデルナ社（XBB.1.5 オミクロン株対応）	3,600
武田社（ノババックス）	31,660
アストラゼネカ社	取扱いなし
第一三共社（XBB.1.5 オミクロン株対応）	7,380

（4）大阪市ワクチン配送センター

国から大量に納入されるワクチンを保管するために、ファイザー社ワクチン保管用ディープフリーザーとして114台、モデルナ社ワクチン保管用フリーザーとして33台、武田社（ノババックス）及びワクチン一時保管用冷蔵庫4台設置し、必要に応じた台数を稼働させ、膨大な数の個別接種医療機関への効率的なワクチン配送を実施した。

表4 令和3年4月から令和5年12月までの大阪市ワクチン配送センターにおけるワクチン種別納入量（回分）

ワクチンの種別	回分
ファイザー社（従来型）	4,230,720
ファイザー社（BA. 1 オミクロン株対応）	562,770
ファイザー社（BA. 4/5 オミクロン株対応）	1,349,010
ファイザー社（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	815,760
ファイザー社 5～11歳（従来型）	188,700
ファイザー社 5～11歳（BA. 4/5 オミクロン株対応）	9,400
ファイザー社 5～11歳（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	14,000
ファイザー社 生後6か月～4歳（従来型）	76,000
ファイザー社 生後6か月～4歳（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	8,600
モデルナ社（従来型）	388,000
モデルナ社（BA. 1 オミクロン株対応）	169,600
モデルナ社（BA. 4/5 オミクロン株対応）	76,650
モデルナ社（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	98,000
武田社（ノババックス）	1,000
アストラゼネカ社	取扱いなし
第一三共社（XBB. 1. 5 オミクロン株対応）	取扱いなし

(5) 個別接種医療機関（サテライト型）及び高齢者施設からのワクチン受注

ファイザー社ワクチン（12歳以上）はワクチン発注システム（FAX、Web）、その他のワクチン（高齢者施設含む）は大阪市行政オンラインシステムにより受注であったが、令和5年4月からはすべてのワクチンの受注を大阪市行政オンラインシステムに一本化し、医療機関の発注作業の負担軽減を図った。

※アストラゼネカ社ワクチンについては個別接種医療機関での接種なし。

※武田社ワクチン（ノババックス）については基本型施設のみとし、国から直接納入を基本としているが、基本型施設に出向く事が困難な接種希望者用に、一部個別接種医療機関にも配送した。

※第一三共社ワクチンについては基本型施設のみとし、国から直接納入された。

(6) 個別接種医療機関（サテライト型）及び高齢者施設へのワクチン配送

引き続き、ワクチン配送センターにおいて、発注データに基づき医療機関別に配送するワクチン及び接種資材を準備し、担当者が定められたルートに基づき各個別接種医療機関等へ配送した。

表5 令和3年4月から令和6年1月31日までの大阪市ワクチン配送センターにおける
ワクチン種別配送実績（回分）

ワクチンの種別	初回接種※	追加接種
ファイザー社（従来型）	← 3,704,421 →	
ファイザー社（BA.1 オミクロン株対応）	← 306,816 →	
ファイザー社（BA.4/5 オミクロン株対応）	← 1,138,938 →	
ファイザー社（XBB.1.5 オミクロン株対応）	← 493,908	
ファイザー社 5～11歳（従来型）	← 80,680 →	
ファイザー社 5～11歳（BA.4/5 オミクロン株対応）	← 5,470 →	
ファイザー社 5～11歳（XBB.1.5 オミクロン株対応）	← 6,380	
ファイザー社 生後6か月～4歳（従来型）	19,730	
ファイザー社 生後6か月～4歳（XBB.1.5 オミクロン株対応）	← 4,680	
モデルナ社（従来型）	取扱いなし	110,831
モデルナ社（BA.1 オミクロン株対応）		3,765
モデルナ社（BA.4/5 オミクロン株対応）		16,080
モデルナ社（XBB.1.5 オミクロン株対応）	← 45,940	
武田社（ノババックス）	← 8,450 →	
アストラゼネカ社	取扱いなし	
第一三共社（XBB.1.5 オミクロン株対応）		取扱いなし

※ファイザー社（生後6か月～4歳）ワクチンについては、1～3回目接種が初回接種であり、
その他のワクチンについては、1～2回目接種が初回接種である。

2 ディープフリーザー等の取扱い

(1) ディープフリーザー等の配置

ワクチン接種の実施にあたり、ワクチン保管用のディープフリーザーやワクチン移送時に使用する冷蔵移送用保冷バッグ（保冷バッグ、アルミ内箱、バイアルホルダー、保冷剤）が国から無償譲渡され、基本型施設や各区保健福祉センター等の接種会場に配置した。その他不足する備品や必要な資材については、本市にて追加で購入した。

(2) ディープフリーザー等の譲渡等

集団接種会場の閉鎖や、接種希望者・接種対象者の減少に伴い余剰資材が発生した。また、これらを保管していた鶴見倉庫を明け渡す必要が生じたため、余剰資材の処分について検討し、個別接種医療機関・高齢者施設等に無償譲渡した。

また、特例臨時接種の期間が令和6年3月末をもって終了する方針が示されたため、ワクチン配送センターの閉鎖も視野に、ディープフリーザー等の備品の譲渡や廃棄処分の検討を進めた。

表6 ディープフリーザー等備品及びその他資材の譲渡先及び譲渡方法

	配布備品・資材等	周知方法	引渡し方法
令和5年4月～ 随時	ディープフリーザー、フリーザー、薬用保冷庫、保冷バッグ等	健康局内各部署・こども青少年局・大阪市立環境科学研究センター・大阪健康安全基盤研究所・天王寺動物園・大阪公立大学・個別接種医療機関等に電話にて確認	希望先が引取り 一部公用車により 配送
令和5年5月	集団接種会場で使用していた保冷バッグ等	24区役所に対して事務連絡発出・庁内ポータルのリユース情報に掲載、メールまたは電話により受付	希望先が引取り
令和5年9月	集団接種会場で使用していたステンレストレイ、舌圧子等	個別接種医療機関に対して事務連絡発出、大阪市行政オンラインシステムにより受付	ワクチン配送ルートを活用して配送
令和5年12月	ディープフリーザー、フリーザー、薬用保冷庫、保冷バッグ等	庁内ポータルのリユース情報に掲載、メールにより受付	希望先が引取り
令和6年1月	令和5年秋開始接種で使用しない注射針・シリンジの残余分	個別接種医療機関に対して事務連絡発出、大阪市行政オンラインシステムにより受付	ワクチン配送ルートを活用して配送

第4 接種啓発及び報道対応等

1 接種啓発

(1) 一般向け情報発信

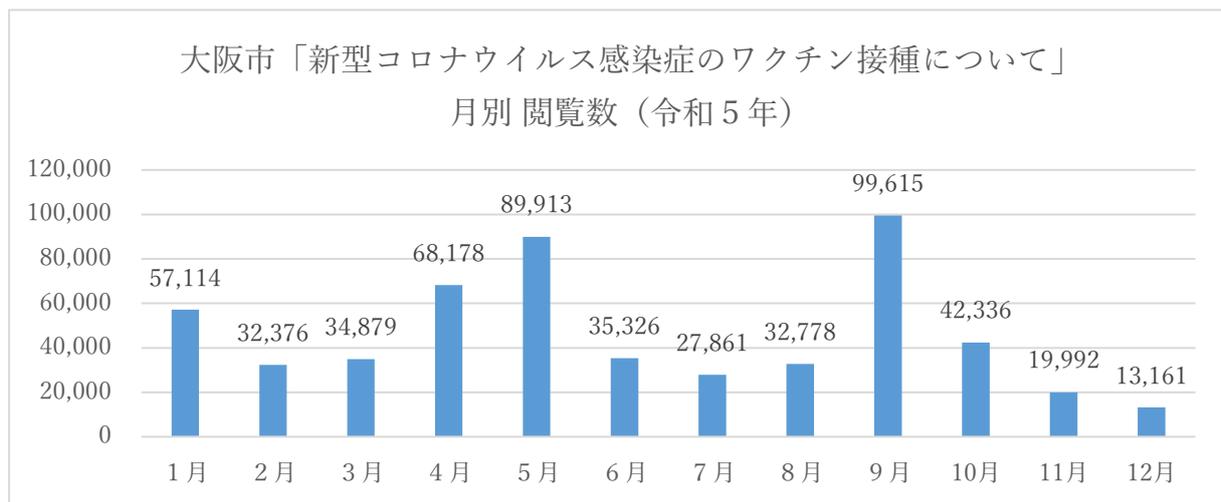
引き続き、ワクチン接種に関する最新情報を広く市民に向けて発信した。特に、「令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）」と「令和5年秋開始接種」（令和5年9月20日～令和6年3月31日）」の開始及び終了前後には、あらゆる広報ツールを活用して重点的に広報活動を行った。

ア 本市ホームページ、広報紙及びSNS等による情報発信

(ア) 本市ホームページによる情報発信

各種バナーの設置や適時適切な情報が容易に得られるようなページ構成にするなど、市民にとって分かりやすいホームページとなるよう創意工夫を図った。また、本市ホームページが幅広い世代に活用され、即時性が高く、情報量が多い広報ツールであることを踏まえ、本市広報紙やX（旧 Twitter）・チラシ等から、ホームページへ誘導する仕組みとした。

表1 本市ホームページ 新型コロナワクチントップページの月別閲覧数



【新型コロナワクチントップページ（令和5年5月～）】



【新型コロナワクチントップページ（令和5年9月～）】



(イ) 広報紙による情報発信

令和5年度の本市重点広報計画にワクチン接種事業を位置付け、継続的にワクチン接種に関する情報を広報紙に掲載した。

【令和5年5月号（「令和5年春開始接種」のお知らせ）】

ワクチン接種のお知らせ 接種費用 **無料**

▶初回接種(1・2回目)がお済みの方の追加接種について

5月8日から**65歳以上の高齢者、基礎疾患をお持ちの方、医療従事者等を対象に「春開始接種」**が始まります。接種を希望される方は、取扱医療機関へご予約ください。また、接種券は、5月7日までにオミクロン株対応ワクチン等の接種がお済みの全ての方に、順次お送りしますが、お済みでない方には、新たにお送りしませんので、お手持の接種券をご使用ください。

「春開始接種」の対象ではない、65歳未満の方、基礎疾患をお持ちでない方等は、9月以降開始予定の「秋開始接種」で接種できますので、接種券は大切に保管してください。

お問い合わせ▶大阪市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-065670または06-6377-5670 ☎0570-056769
(受付時間：9:00～18:00 土日祝含む)

ワクチン接種についての最新情報は  はこちら

【令和5年9月号（「令和5年秋開始接種」のお知らせ）】

ワクチン接種のお知らせ 接種費用 **無料**

▶令和5年秋開始接種が9月下旬から始まります

初回接種(5歳以上の方は1・2回目、生後6か月～4歳の方は1～3回目)が完了した全ての方が対象です。お手持の接種券をご使用ください。なお、令和5年春開始接種で接種された方には、接種券を順次送付します。取扱医療機関で接種できますので、接種開始日など詳しくは  をご覧ください。

▶「令和4年秋・令和5年春開始接種」を9月19日まで延長しています

小児(5～11歳)を対象とした「令和4年秋開始接種」および65歳以上の高齢者、基礎疾患をお持ちの方、医療従事者等を対象とした「令和5年春開始接種」の期間を延長しています。接種を希望される方は、取扱医療機関へご予約ください。

ワクチンの種類 ▶現在の流行主流株であるオミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン

お問い合わせ▶大阪市新型コロナワクチンコールセンター ☎0570-065670 または 06-6377-5670 ☎0570-056769 (受付時間：9:00～18:00 土日祝含む)

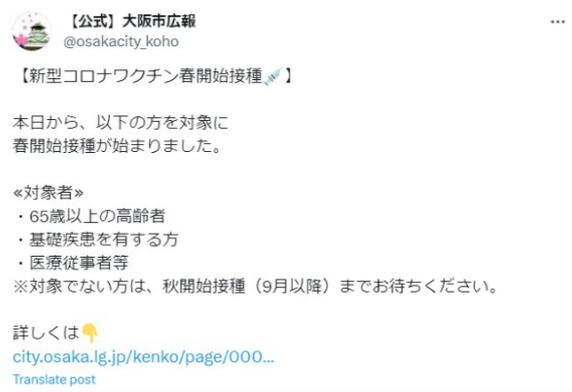
ワクチン接種についての最新情報は  はこちら

(ウ) SNS 等による情報発信

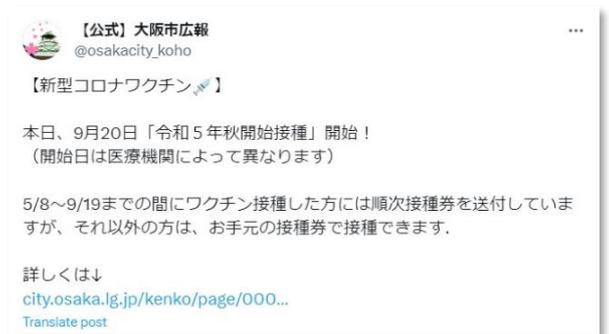
ワクチン接種に関する情報を本市公式 X (旧 Twitter) 及び認知症アプリで発信した。

なお、令和 3 年 7 月に LINE アカウント「大阪市新型コロナ対策」を開設し、新型コロナワクチン関連情報や新型コロナウイルスに関する感染症対策情報等 (AI チャットポッドによる FAQ 等) の情報を発信してきたが、令和 5 年 3 月に本市集団接種会場が終了したことを機に当該アカウントを閉鎖した。

【本市公式 X : 令和 5 年 5 月 8 日】



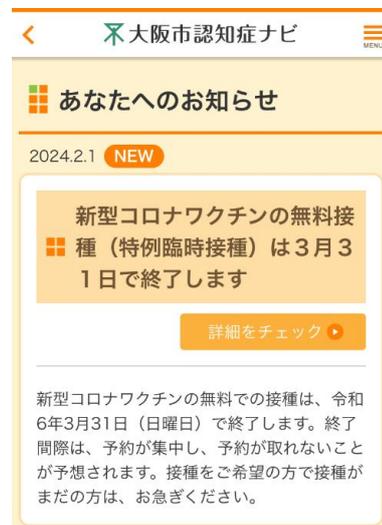
【本市公式 X : 令和 5 年 9 月 20 日】



【認知症アプリ : 令和 5 年 8 月 18 日】



【認知症アプリ : 令和 6 年 2 月 1 日】



イ チラシによる情報発信

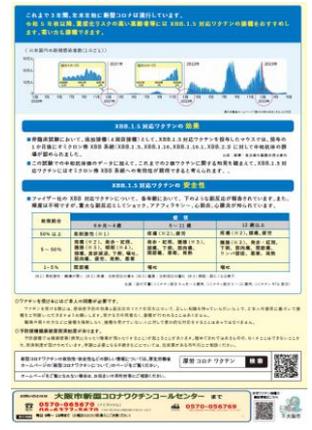
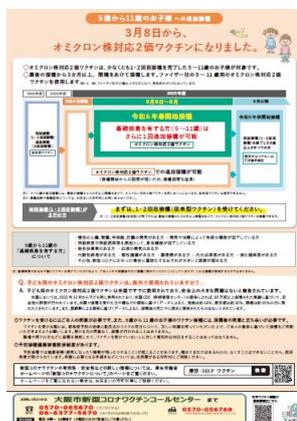
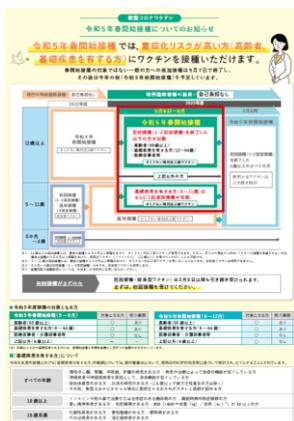
市民に広く周知する必要がある内容についてチラシを作成し、区役所及び Osaka Metro 駅構内等に配架した。

表2 内容及び配架場所

内 容	配架場所（配架時期）
令和5年春開始接種及び5～11歳のお子さまの接種スケジュール（厚労省作成）	Osaka Metro 駅構内（R5.4～R5.7）
ワクチンNEWS（No.10） 令和5年春開始接種について	区役所及びホームページ（R5.5.24）
令和5年春開始接種及びワクチンの効果（厚労省作成）	Osaka Metro 駅構内（R5.8）
ワクチンNEWS（No.11） 「令和5年秋開始接種」及び「令和4年秋開始接種・令和5年春開始接種の期限延長について」	区役所及びホームページ（R5.8.31） Osaka Metro 駅構内（R5.9）
令和5年秋開始接種（厚労省作成）	Osaka Metro 駅構内（R5.10～R5.12）
ワクチンNEWS（No.12） 「令和5年秋開始接種」について	区役所及びホームページ（R5.10.12）
ワクチンNEWS（No.13） 「令和5年秋開始接種」にかかる使用ワクチンの追加等について	区役所及びホームページ（R5.12.13）
全額公費による接種終了（厚労省作成）	Osaka Metro 駅構内（R6.1）
ワクチンNEWS（No.14） 新型コロナウイルスワクチン接種の無料での接種の終了について	区役所及びホームページ（R6.1.15） Osaka Metro 駅構内（R6.2）

【チラシ：Osaka Metro 駅構内4～7月分】

【チラシ：Osaka Metro 駅構内10～12月分】



【ワクチン NEWS No.10】

【ワクチン NEWS No.12】

【ワクチン NEWS No.13】

【ワクチン NEWS No.14】

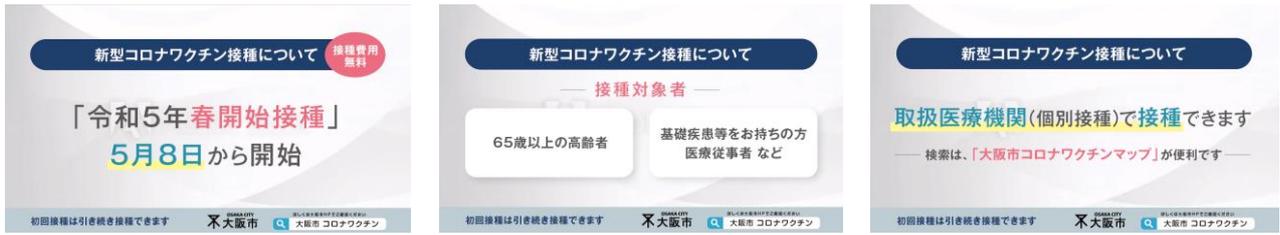
ウ デジタルサイネージによる情報発信

包括連携協定締結企業等のデジタルサイネージを活用し、動画によるワクチン接種に関する情報を継続的に発信した。

表3 デジタルサイネージによる主な発信場所

放映場所
Osaka Metro 主要14駅
阪急電車大阪梅田駅(エントランスビジョン)
JR大阪駅 主要掲載場所5か所(御堂筋グランドビジョン・アトリウム広場・カリヨン広場・NGB3階インフォメーション・御堂筋南口サイネージ)
商業施設等(あべのキューズモール、スーパー銭湯)

【デジタルサイネージ：令和5年5月分】



【デジタルサイネージ：令和5年12月分】



エ メディアによる情報発信

株式会社ジェイコムウエストと協力し、本市 15 行政区内に放送している番組「ジモト応援！大阪つながる NEWS」「LIVE ニュース」「WEEKLY トピクス」により、情報を発信した。

(2) 外国籍の住民や障がいのある方に向けた情報発信

ア 外国籍の住民に向けた情報発信

本市には 16 万人以上（およそ 17 人に 1 人）の外国籍の住民が居住していることから、本市ホームページや支援団体の外国語ページ等を通じて、より多くの方に情報を発信した。

(ア) 本市ホームページ等での啓発

本市ホームページでは、「やさしい日本語」のページでワクチン接種に関する最新情報を掲載した。また、公益財団法人大阪国際交流センターの協力により、本市ホームページから、同法人作成の多言語（5 か国語）でのワクチン関連情報のページへ案内した。

表 4 本市ホームページ等での啓発内容

内容	掲載場所
「やさしい日本語」での発信	「新型コロナワクチン接種『やさしい日本語』専用ページ（令和3年設置）
外国語（5か国語）対応	本市ホームページから「公益財団法人大阪国際交流」ホームページを案内

(イ) 外国籍の住民向け情報メディアや市民活動団体（多文化共生、国際協力）との連携

YOLOJAPAN（外国籍の住民向け採用情報メディア）と連携し、当該団体のホームページに本市ワクチン接種情報を掲載した。また、市民局と連携し、「大阪市市民活動総合ポ一

「タルサイト団体リスト」に登録のある市民活動団体（活動分野：多文化共生、国際協力）約 130 団体に、本市のワクチン接種情報を提供した。

イ 障がいのある方に向けた情報発信

本市ホームページや支援団体等を通じて、障がいのある方に向けた情報を発信した。

また、本市ホームページの作成にあたっては、視覚に障がいのある方が音声読み上げソフトを利用する際に支障なく情報伝達ができるよう、ホームページ内の画像データにテキスト情報を設定するなど、ウェブアクセシビリティに配慮した。

表 5 障がいのある方に向けた情報発信内容

内容	掲載場所
「やさしい日本語」での発信	「新型コロナワクチン接種『やさしい日本語』」専用ページ（令和 3 年設置）
「新型コロナワクチン接種の予診票の書きかたのわかりやすい版」	社会福祉法人大阪市手をつなぐ育成会の協力により、同法人作成のホームページを案内

2 市長会見による発信や報道発表等

ワクチン接種を希望する市民が円滑に接種できるよう周知するため、令和 5 年春・秋開始接種等について、市長会見や報道発表・取材対応を行うことにより、マスメディアを通じて、不特定多数への情報を発信した。

新型コロナワクチン接種に係る市長会見

会見日	市長会見内容
令和 5 年 4 月 27 日	「令和 5 年春開始接種」について
9 月 20 日	「令和 5 年秋開始接種」について

新型コロナワクチン接種に係る報道発表（取材要領含む）

公表日	報道内容
令和 5 年 2 月 17 日	新型コロナワクチン集団接種会場の終了について
3 月 16 日	小児（5～11 歳用）へのオミクロン株対応ワクチン接種の実施等について
4 月 28 日	介護老人保健施設における新型コロナウイルスワクチン「令和 5 年春開始接種」について（取材要領）
6 月 16 日	市内医療機関における新型コロナウイルスワクチンの誤接種について
8 月 31 日	新型コロナワクチン「令和 5 年秋開始接種」の実施について
9 月 13 日	介護老人保健施設における新型コロナワクチン「令和 5 年秋開始接種」について（取材要領）

3 広聴・情報公開請求

(1) 受付状況

ワクチン接種開始当初は、市民の関心も高く、問い合わせも多数寄せられていたが、接種回を重ねるごとに減少した。

令和5年2月以降の受付件数については表6のとおり。

表6 受付件数 (件)

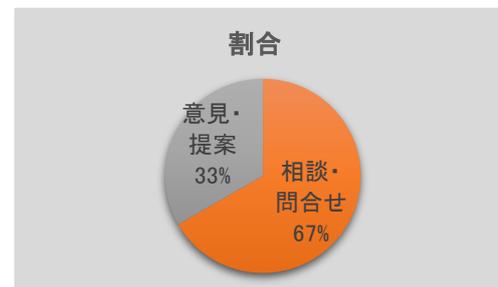
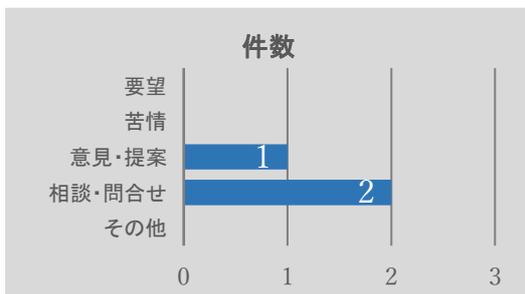
受付年月	市民の声	お問い合わせ	情報公開請求	備考
令和5年2月	0	2	0	
3月	0	1	0	
4月	1	4	0	
5月	0	9	0	令和5年春開始接種
6月	0	3	1	
7月	2	4	2	
8月	0	1	0	
9月	0	3	2	令和5年秋開始接種
10月	0	7	0	
11月	0	1	0	
12月	0	1	0	
令和6年1月	0	1	3	
計	3	37	8	

※情報公開請求の受付件数は、情報提供に切り替えたものも含む。

(2) 市民の声の概要

令和5年2月以降の市民の声は3件であり、ワクチン接種に関する「問合せ」が2件、ホームページに関する「意見」が1件であった。

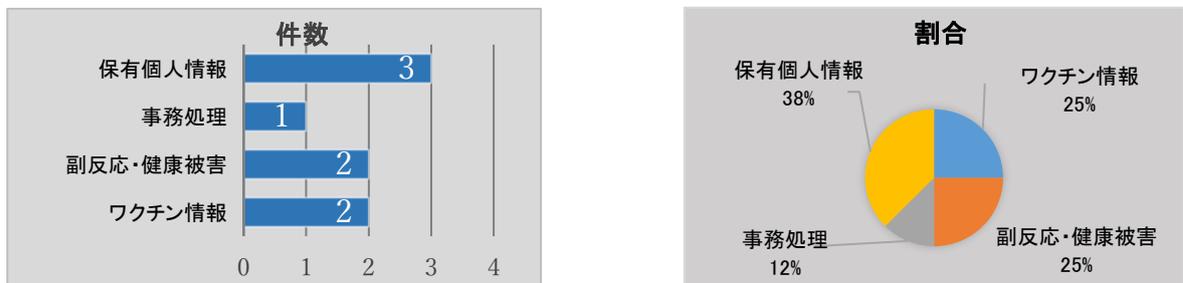
図1 市民の声の件数及び割合



(3) 情報公開請求の概要

ワクチン接種後の副反応や健康被害救済に関することが主な内容で、令和5年2月以降の請求件数は8件（保有個人情報開示を含む）であった。

図2 情報公開請求の件数及び割合



第5 高齢者施設・障がい者支援施設等における接種

1 令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）

（1）接種の進め方

令和5年春開始接種は、高齢者等の重症化リスクの高い方に限定された。

本市では、初回接種を完了し、最終の接種から3か月を経過した対象者に対し、令和5年5月8日から高齢者施設・障がい者支援施設等での接種を開始した。

（2）接種対象者

初回接種を完了した以下の方が対象

- ・65歳以上の高齢者
- ・64歳以下の基礎疾患を有する方・その他重症化リスクが高いと医師が認める方
- ・医療従事者、高齢者施設・障がい者支援施設等従事者

（3）接種券

令和4年秋開始接種から3か月以上経過したすべての市民の方に接種券が送付されること、また、すでに接種券が届いている方は、お手元の接種券でオミクロン株対応ワクチンの接種が可能であることを案内した。

（4）ワクチン配送

ア 高齢者施設等へのワクチン配送

引き続き、大阪市行政オンラインシステムを活用することにより、迅速かつ効率的な運用に努めた。

イ 障がい者支援施設等へのワクチン配送

福祉局が、各施設・事業所における必要数を調査確認し、保健所と調整した。

（5）大阪府による高齢者施設等における接種促進に向けた取組と連携

ア 巡回接種チームの設置（令和5年5月8日～9月19日）

個別接種医療機関の確保が困難な高齢者施設等に対して、巡回接種チームによる接種を実施した。

イ 接種券の代行手配（令和5年5月8日～9月19日）

高齢者施設等の事務負担の軽減を図ることを目的に、「大阪府高齢者施設等新型コロナワクチン接種券代行申請センター」（以下「大阪府接種券代行申請センター」という。）において接種券の代行手配を実施した。

（6）福祉局（高齢者施策部）特設チームの構成

兼務職員：高齢福祉課長代理1名、担当係長1名、係員1名

専任職員：会計年度任用職員3名

2 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）

（1）接種の進め方

令和5年秋開始接種は、初回接種が完了した生後6か月以上のすべての方が対象とされた。

本市では、初回接種を完了し、最終の接種から3か月を経過した対象者に対し、令和5年9月20日から高齢者施設・障がい者支援施設等での接種を開始した。

(2) 接種対象者

初回接種が完了した生後6か月以上のすべての方が対象

(3) 接種券

令和5年春開始接種から3か月以上経過したすべての市民の方に、接種券が送付されること、また、すでに接種券が届いている方は、お手元の接種券でオミクロン株対応ワクチンの接種が可能であることを案内した。

(4) ワクチン配送

ア 高齢者施設等へのワクチン配送

引き続き、大阪市行政オンラインシステムを活用することにより、迅速かつ効率的な運用に努めた。

イ 障がい者支援施設等へのワクチン配送

福祉局が、各施設・事業所における必要数を調査確認し、保健所と調整した。

(5) 大阪府・本市による高齢者施設等における接種促進に向けた取組

ア 巡回接種チームの設置の延長（令和5年9月20日～令和6年3月29日）

個別接種医療機関の確保が困難な高齢者施設等に対して、巡回接種チームによる接種を今年度3月末まで延長実施した。

イ 接種券の代行手配の延長（令和5年9月20日～令和6年3月29日）

高齢者施設等の事務負担の軽減を図り、ワクチン接種を促進するため、「大阪府接種券代行申請センター」における接種券の代行手配を12月末まで延長実施した。

その終了に伴う代替手段として、本市において、市民の入所者に限り、所定のエクセルファイルを使用して一括して申請できるよう体制を整え、今年度3月末まで延長実施した。

(6) 福祉局（高齢者施策部）特設チームの構成

兼務職員：高齢福祉課長代理1名、担当係長1名、係員1名

専任職員：会計年度任用職員3名 ※うち2名は令和5年12月31日までの任期

表1 高齢者施設等における令和5年春開始接種実績【令和5年9月19日時点】

	接種者数
介護老人保健施設（82施設）	4,102人
特別養護老人ホーム（164施設）	10,504人
認知症対応型GH（233施設）	3,007人
有料老人ホーム等（648施設）	14,891人
計（1,127施設）	32,504人

表 2 高齢者施設等における令和 5 年秋開始接種実績【令和 6 年 1 月 31 日時点】

	接種者数
介護老人保健施設 (82 施設)	3,645 人
特別養護老人ホーム (164 施設)	9,343 人
認知症対応型 GH (237 施設)	2,713 人
有料老人ホーム等 (656 施設)	12,291 人
計 (1,139 施設)	27,992 人

第6 集団接種

集団接種会場の終了

本市が設置する集団接種会場は、令和5年3月26日扇町プール会場の閉鎖をもって、全て終了した。

令和5年度については、市内における個別接種医療機関に十分な接種能力があることから「令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）」、「令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）」のいずれにおいても、集団接種会場は設置せず、個別接種により対応した。

表1 令和5年2月以降の本市集団接種会場設置状況

会場名	所在区	開設期間	取扱ワクチン
やすらぎ天空館	阿倍野区	令和5年1月5日～令和5年2月20日	ファイザー社
扇町プール	北区	令和5年2月1日～令和5年3月26日	オミクロン株

第7 個別接種

1 個別接種医療機関及びワクチン配送の変遷

(1) ワクチンの発注方法・事務連絡の送付方法の変更

個別接種医療機関においては、ワクチン種の増加を受けて、ファイザー社ワクチン（12歳以上）はワクチン発注受付システム（FAX、Web）で、その他ワクチンは大阪市行政オンラインシステムでの発注が必要であったが、すべての発注を同システムに一元化すべく調査を実施した。

その結果、ほぼすべての医療機関において、大阪市行政オンラインシステムによる対応が可能であることを確認したことから、電話・FAX等での発注も可能とし、同システムへの移行を決定した。その際、ワクチン発注受付事務局に相談窓口を設置し、同システムの操作に係る医療機関の不安軽減に努めた。

また、大阪市行政オンラインシステムの利用により、各個別接種医療機関への事務連絡を文書発送からメールに変更した。加えてメール発信の際には、医療機関のネット環境に応じた情報取得が可能となるように、ファイル添付だけでなく本市ホームページに掲載した事務連絡をリンクさせるなどの工夫を図った。

ワクチン発注受付方法の変更、メールによる事務連絡の発出などの取組により、ワクチン発注受付システム改修経費や通信運搬費の縮減に寄与できた。

(2) 令和5年度新型コロナワクチン接種の実施にかかる意向調査（以下、「令和5年度意向調査」）

各種ワクチンの保管期限の延長や、接種に用いるワクチン種の増加により、配送体制の見直しを図るため、令和5年3月に個別接種医療機関に意向調査を実施した。

その結果を踏まえ、各医療機関の接種能力及び接種体制を考慮したうえで、配送の効率化を図るとともに、多様なワクチンを配送する体制を再構築した。

(3) ワクチン等の保管・配送

特例臨時接種実施期間の延長を受け、2度の契約変更を経て、佐川グローバルロジスティクス株式会社と令和4年度末まで契約を締結した。

令和5年3月7日付厚生労働省事務連絡「今後の新型コロナワクチン接種について（その4）」において、臨時接種の期間をさらに令和6年3月31日まで延長する旨が示されたため、令和5年4月から引き続き業務遂行が可能である佐川グローバルロジスティクス株式会社と令和6年3月31日まで、新たに特名随意契約を締結した。

ア 契約内容

(ア) 契約名称

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン等保管・配送業務委託（概算契約）

(イ) 業務概要

令和5年度に実施する新型コロナワクチン接種に使用するワクチン等の適切な保管、医療機関への円滑な配送

(ウ) 実施場所

大阪市ワクチン配送センター（大阪市此花区）

(エ) 稼働日

令和5年4月1日～令和6年3月31日

土・日・祝日、年末年始（12/29～1/3）除く。

イ 配送曜日の集約・拡充

(ア) 12歳以上用ファイザー社ワクチン

これまで個別接種医療機関ごとに週2回（月・木ルートもしくは火・金ルート）の配送曜日を設定していたが、令和5年度意向調査での医療機関の要望を踏まえ、配送曜日を週1回に集約することにより、経費の縮減及び配送の効率化を図った。

(イ) モデルナ社ワクチン

これまで金曜日のみ週1回の配送であったモデルナ社ワクチンについて、木曜日も配送し、被接種者の接種機会を損なうことがないように、配送体制の拡充を図った。

(ウ) 小児用・乳幼児用ワクチン

これまで水曜日のみ週1回の配送であった小児用・乳幼児用ワクチンについて、金曜日も配送し、週2回の配送へ変更した。

これにより、水曜日が休診のため接種に協力できなかった医療機関の新規参加を促すことができ、本市の小児・乳幼児ワクチン接種体制の拡充を図った。

(4) 令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）

ア 従来ワクチンによる初回接種受入医療機関の取扱い

前年度より、従来ワクチン（ファイザー社）を接種できる医療機関を「初回接種受入医療機関」として8施設確保し、本市ホームページに掲載、市民周知を図った。

この体制は、オミクロン株対応2価ワクチンを初回接種に使用する令和5年8月まで継続した。

イ 令和5年春開始接種の期間延長

令和5年春開始接種の期間が当初の令和5年8月末日から令和5年9月19日まで延長となった。

また、令和5年8月7日以降の初回接種においては、オミクロン株対応2価ワクチンを使用することになったため、個別接種医療機関へのワクチン臨時配送機会を追加設定し、希望者への円滑なワクチン接種体制を確保した。

(5) 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）

ア 「令和5年新型コロナワクチン接種の実施に係る意向調査」の回答内容の修正

令和5年春開始接種と対象者が異なり、オミクロン株対応1価ワクチンの国からの供給が限られていることから、ワクチンの効率的な配分を行うため、令和5年秋開始接種実施前に、個別接種医療機関へ意向調査を実施した。

イ オミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチンの配送

12歳以上用ファイザー社ワクチン

当初、国からのワクチン供給量が少なかったことから、基本型医療機関（国から直送）及び一部の接種体制の整った高齢介護施設には先行して配送し、9月20日の接種開始に間に合わせた。個別接種医療機関（サテライト型）には十分なワクチン量を確保できた令和

5年9月25日の週から配送を開始した。

モデルナ社ワクチン

令和5年9月25日付厚生労働省事務連絡により令和5年秋開始接種に使用するワクチンと定められたことから、順次ワクチン配送を開始した。

令和5年11月1日から同ワクチンの取扱いが変更され、6か月～5歳への初回接種、6歳以上への初回接種及び追加接種への使用が可能となった（同一製剤で年齢により接種量が異なる）。この取扱い変更を受け、小児・乳幼児への同ワクチンを用いた接種を行う個別接種医療機関へ乳幼児・小児用の接種用資材を追加配布した。

小児用（5～11歳用）・乳幼児用（6か月～4歳用）ファイザー社ワクチン

国からのワクチンの供給スケジュールに則り、小児用ファイザー社ワクチンについては令和5年10月4日から、乳幼児用ファイザー社ワクチンについては令和5年10月11日から配送を開始した。なお、本市における小児用及び乳幼児用ファイザー社ワクチン個別接種医療機関については、全てサテライト型として登録をしていたため、本市から配送した。

ウ ノババックスワクチンの接種体制

令和5年6月20日付厚生労働省事務連絡にてワクチンの保管期限が、9か月から12か月に延長されたことを受け、令和5年春開始接種に引き続き令和5年秋開始接種においても、本市基本型施設において接種体制を確保した。

なお、延長されたワクチンの保管期限の令和5年12月25日に、同ワクチンによる接種は終了した。

エ オミクロン株対応2価ワクチン及び従来型ワクチンの廃棄

令和5年秋開始接種の実施に伴い、使用予定のないオミクロン株対応2価ワクチン及び、従来ワクチンについて、令和5年9月14日付本市事務連絡にもとづき、誤使用防止の観点から個別接種医療機関へ廃棄を依頼した。

2 大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金

(1) 実施主体の移行

令和5年3月24日付厚生労働省事務連絡「令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について」にて、令和4年度まで都道府県事業であったワクチン個別接種促進協力金事業を市町村事業とされたことにより、令和5年度から本市において実施した。

(2) 本市における実施体制

ア 大阪府へのヒアリング

実施主体の移行にあたり、大阪府から現行の業務委託内容、申請の審査方法及び本市医療機関分における実績件数などを聞き取った。

※府では協力金のホームページの作成、申請受付、問い合わせ対応、支払データの作成までを業務委託。

イ 本市における実施体制の構築

本市への申請見込み件数は、最大約60件前後で少なく、事業開始までのスケジュールを考慮した結果、業務委託は行わず、本市職員によって申請受付から審査・支払までを処理

することとした。

申請受付については、大阪市行政オンラインシステムを使用することとし、入力項目に条件設定することにより、申請不備の削減と審査事務の効率化を図った。

支払通知書は、大阪市行政オンラインシステム上でマイページからダウンロードすることにより発行し、事務の簡略化及び郵送経費の削減を図った。また、大阪市行政オンラインシステムの申請データを活用することにより、支払に必要な事務処理の軽減を図った。

さらに、本市ホームページに手順書及び、Q&A を掲載することにより、個別接種医療機関からの問い合わせの負担軽減に努めた。

(3) 大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金交付要綱の制定

本市にて本事業を実施するにあたり、「大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金交付要綱」を制定した。要綱の作成にあたっては、これまで実施主体であった府の「大阪府新型コロナウイルスワクチン接種促進協力金交付要綱」を参考とした。

作成にあたっては、総務局行政課による法的リスク審査を受け、意見を反映した。

(4) 実施内容

表1 大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金実施内容

目的	<p>新型コロナウイルスワクチンの接種に必要な体制を実施期間中、継続的に確保することを目的に、ワクチンの個別接種に協力する医療機関に対して協力金を交付する。</p> <p>※なお、本件協力金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金により全額本市に交付される。</p>				
交付対象	<p>集合契約方式により、本市と新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る委託契約を締結している大阪市内に所在する診療所</p>				
対象期間	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	令和5年5月1日～ 令和5年7月3日	令和5年7月3日～ 令和5年9月3日	令和5年9月4日～ 令和5年11月5日	令和5年11月6日～ 令和5年12月31日	令和6年1月1日～ 令和6年3月3日
	<p>国の接種体制確保事業実施要綱の令和5年8月15日付改正を受け、本市において、第2期の終期について当初「8月31日まで」であったところを「9月3日まで」に変更し、第3期及び第4期を追加した。</p> <p>その後、同要綱の令和5年12月14日付改正を受け、第5期を追加した。</p>				
交付要件及び交付金額	<p>対象期間中に、週100回以上の接種を4週間以上行った場合、週100回以上の接種をした週における接種回数に対して1回当たり2,000円を交付する。</p> <p>※ただし、週100回以上の接種を行ったそれぞれの週のうち、少なくとも1日は、時間外、夜間または休日にかかる接種体制を用意していること。</p>				

(5) 交付実績

表2 大阪市新型コロナウイルスワクチン個別接種促進協力金交付実績

	第1期	第2期	第3期
申請件数	45件	1件	43件
決定件数	45件	1件	43件
支払日	令和5年9月29日	令和5年11月30日	令和6年1月31日
交付金額	66,542,000円	1,296,000円	58,000,000円

	第4期	第5期
申請件数	未確定	未確定
決定件数	未確定	未確定
支払日	令和6年3月29日(予定)	令和6年5月17日(予定)
交付金額	未確定	未確定

3 大阪市コロナワクチンマップ

令和5年度からは、集団接種を終了し、個別接種医療機関のみの接種体制としたため、各医療機関の予約空き情報の提供が、市民への接種場所の案内としてさらに重要な要素となった。

そこで、予約空き情報の提供をより充実させるために、次の改善を行った。

(1) 追加・終了したワクチン種の表示対応

令和5年秋開始接種から使用することとなったオミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチンなど、新たなワクチン種の追加や既存ワクチン種の接種終了にあわせて、随時ワクチンマップの表示を変更した。

(2) 個別接種医療機関における予約空き情報データ入力方法の追加

予約空き情報は、大阪市行政オンラインシステム上の専用メニューを通じて個別接種医療機関が入力することとしていたが、令和5年4月からは、同システム上のワクチン発注用メニューに、新たに予約空き情報の入力項目を設定し、ワクチン発注と同時に予約空き情報も入力できるように効率化を図った。その結果、1日あたり100件程度であった入力件数が、多い時には800件程度まで増加した。

(3) コロナワクチンマップの更新周期変更

令和5年3月までは、個別接種医療機関は予約空き情報を毎日入力する必要があったが、令和5年4月からは毎週月曜日を締切とする週1回の入力に変更した。これは、締切までに入力済の予約空き情報を、翌週の締切時点まで継続して表示するものである。ただし、「毎日、予約空き情報を変更したい」というニーズに対応するため、平日の午後4時にも締切を設けた。

令和5年4月1日から11月20日までの間の閲覧数は、約38万5000アクセスとなっている。(オミクロン株対応BAワクチン及びXBBワクチンのマップの合計)

なお、接種ピーク時には、市民の個別接種医療機関の検索、空き情報の閲覧により、本市ホームページ内のアクセス数が1位を記録した。

図1 大阪市コロナワクチンマップにおけるワクチン種の追加対応例
(オミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチン)



図2 週1回締切のイメージ図 (医療機関向け入力の手引きより抜粋)

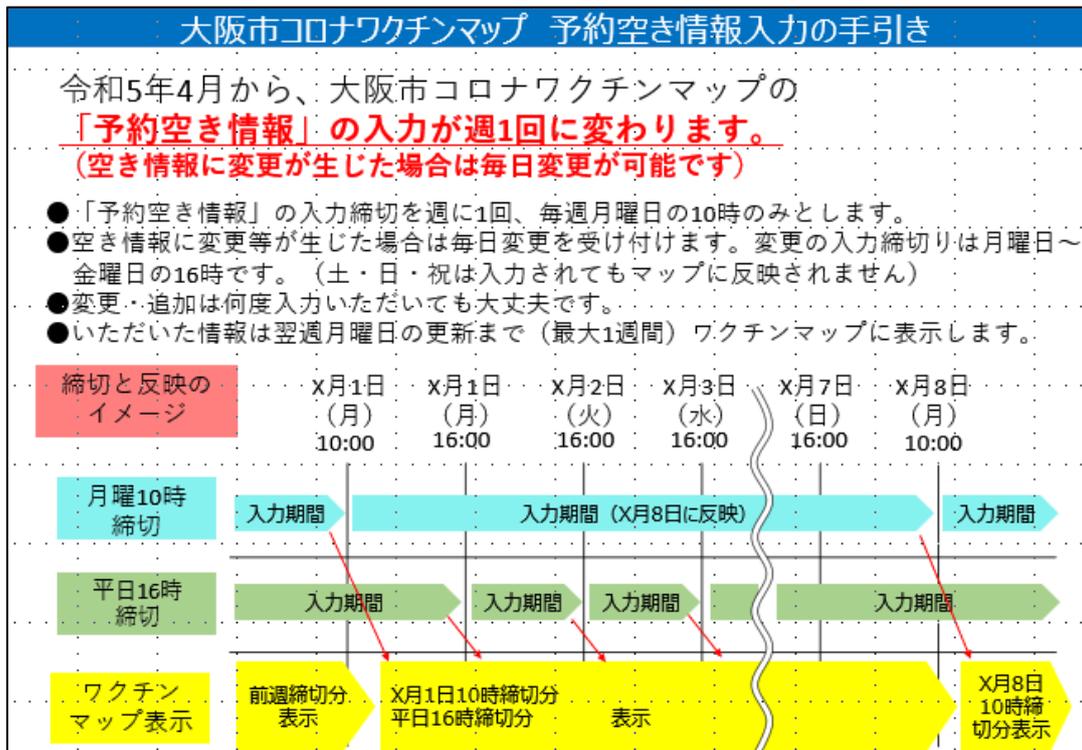


図3 大阪市コロナワクチンマップ閲覧数（日別）

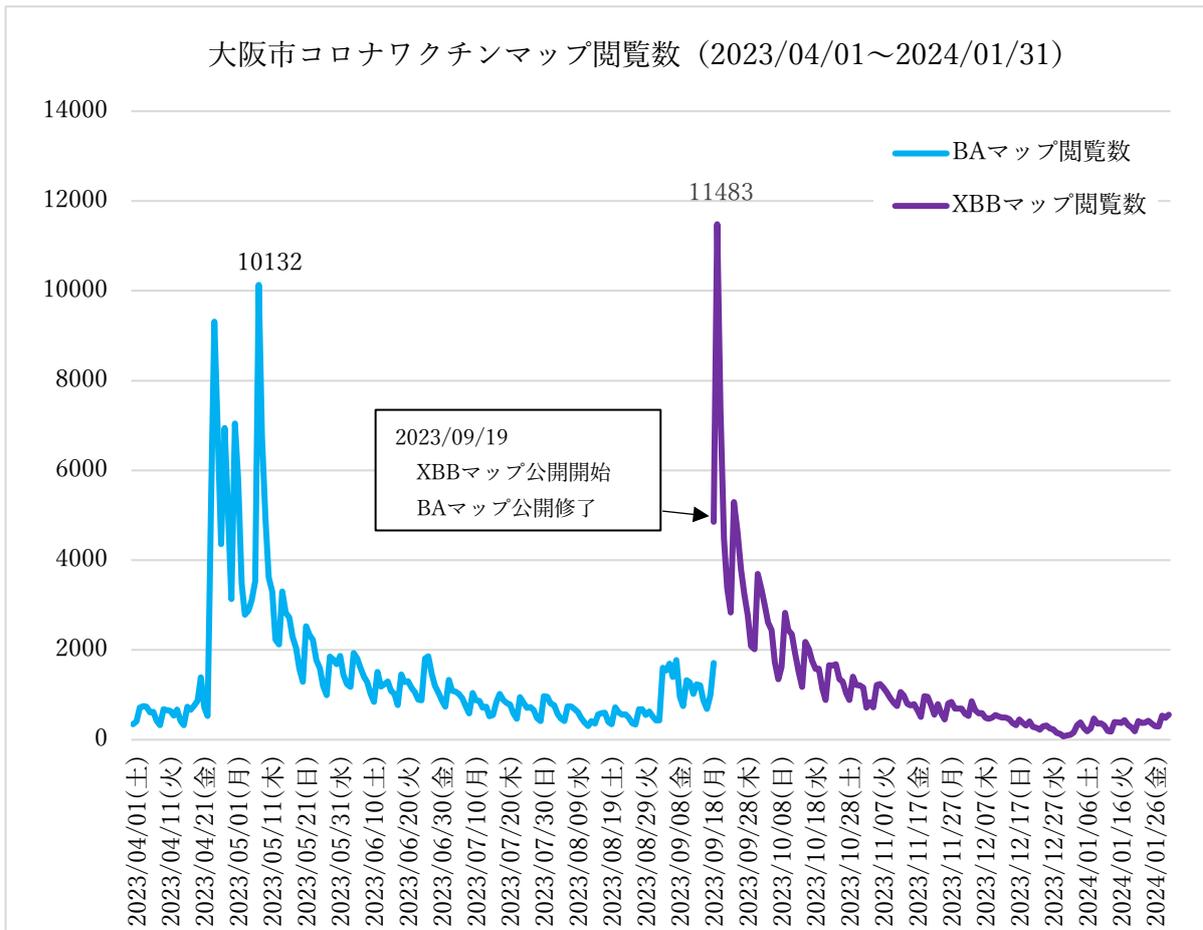


図4 本市ホームページのアクセスランキング（令和4年11月）

順位	URL	閲覧数	入口数	出口数	直帰率
1	https://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu280/covid19vaccinemap/vac_adult_02/index.html	277,746	183,706	183,706	100%
2	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000548928.html	268,374	214,044	214,044	100%
3	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000579828.html	245,485	210,000	210,000	100%
4	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000541361.html	241,670	202,000	202,000	100%
5	https://www.city.osaka.lg.jp/index.html	223,956	142,000	142,000	100%
6	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000528324.html	219,038	142,000	142,000	100%
7	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000524920.html	215,533	175,000	175,000	100%
8	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000555663.html	212,805	173,000	173,000	100%
9	https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000580499.html	202,157	100,000	100,000	100%
10	https://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu280/covid19vaccinemap/index.html	198,761	158,083	23,144	9,046
11	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000544831.html	186,074	147,000	147,000	100%
12	https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenyaku/page/0000568529.html	173,146	158,000	158,000	100%
13	https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000528315.html	155,888	128,775	41,351	59,000
14	https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000369355.html	129,652	114,770	97,819	61,192

第8 接種困難者への支援

1 高齢者・障がい者支援サービス事業者等との協力

令和5年春開始接種、秋開始接種時には、円滑にワクチン接種が進むように、福祉局地域福祉課等の関係機関と連携し、各関係団体等に接種に支援が必要とされる方への協力を依頼した。

また、各団体の会議の場においても、ワクチン接種に係る情報共有と協力を依頼した。

表1 依頼先関係団体一覧

団体名	協力依頼方法
大阪市老人福祉施設連盟	理事会での依頼
大阪介護老人保健施設協会	依頼文書送付
大阪市地域包括支援センター	管理者会での依頼
区社会福祉協議会	事務局長会議での依頼
大阪市民生委員児童委員協議会	会長連絡協議会での依頼
居宅系・施設系介護サービス事業所	依頼文書送付
障がい福祉関係事業者	依頼文書送付

2 点字・手話通訳

視覚に障がいのある方には、接種券送付時の封筒に点字シールを貼付し、新型コロナワクチンの接種券であることをわかるようにし、ご希望の方には点字資料を送付できるようにした。

また、聴覚に障がいのある方には、集団接種会場設置期間中において、手話通訳サポートを実施した。

第9 副反応と予防接種健康被害救済制度

1 本市における副反応の状況

(1) 予防接種後副反応疑い報告

前年度の接種事業報告書に引き続き、府を通じて情報提供された報告の本市居住者分を令和3年度から全数集計した。

(2) 副反応の報告状況

ア 報告数・接種時期

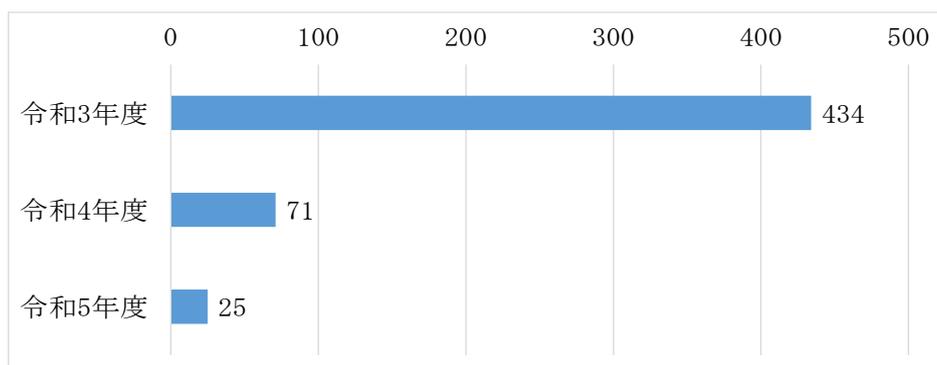
令和6年1月31日までに送信された報告書を集計した。報告数は530件、接種時期は令和3年3月5日～令和5年12月27日で、令和6年1月までの年度別受理数は以下の図1のとおりであり、ワクチン種別報告数は表1のとおりである。

全国では、令和5年10月29日までの報告数は37,652件※である。

※全国の報告集計期間（図1～8、表1～4）について

- ・アストラゼネカ社：令和4年10月9日までの報告数
- ・各社の従来型、オミクロン株2価(BA.1/BA.4-5)：令和5年7月30日までの報告数
(ファイザー社、モデルナ社の12歳以上については令和4年12月16日以降、様式変更により1回目と2回目接種の年齢別集計がされていないため、3回目接種以降の報告数を記載)
- ・武田社：令和4年5月25日から令和5年10月29日までの報告数
- ・ファイザー社オミクロン株XBB.1.5対応1価：令和5年9月20日から令和5年10月29日までの報告数
- ・モデルナ社オミクロン株XBB.1.5対応1価：令和5年9月25日から令和5年10月29日までの報告数
- ・第一三共社：集計なし

図1 ワクチンの年度別受理数



令和3年度の月平均は36件（最大107件、最小0件）

令和4年度の月平均は6件（最大17件、最小2件）

令和5年度の月平均は2.5件（最大7件、最小0件）

表1 ワクチン種別報告数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ファイザー社1回目	170	2	1
ファイザー社2回目	118	3	3
ファイザー社3回目	32	18	1
ファイザー社4回目	0	26	1
ファイザー社5回目	0	12	5
ファイザー社6回目	0	0	7
ファイザー社7回目	0	0	5
モデルナ社1回目	56	1	0
モデルナ社2回目	54	2	2
モデルナ社3回目	0	4	0
モデルナ社4回目	0	3	0
モデルナ社5回目	0	0	0
アストラゼネカ社1回目	1	0	0
アストラゼネカ社2回目	1	0	0
不明	2	0	0

※ファイザー社6か月～4歳用と5～11歳用、武田社、第一三共社は報告なし。

イ 報告対象となった被接種者の属性

(ア) 性別の副反応報告数

本市では報告数のうち、男性176件、女性353件、記載なし1件であり、3回目接種以降の報告数は、男性26件、女性88件であった。(図2) 全国では3回目接種以降で男性2,011件、女性3,561件、不明11件であった。(図3) (前述に記載したとおり令和4年12月16日以降、様式変更により1・2回目接種の男女別が集計できず。)男女比は本市では約1:3、全国では約1:1.8と本市も全国も女性が多かった。

図2 大阪市性別報告割合
(3回目接種以降)

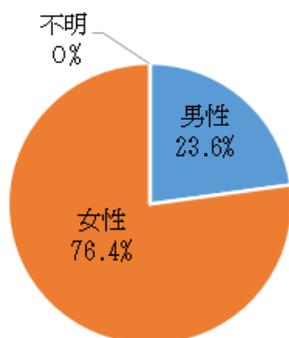
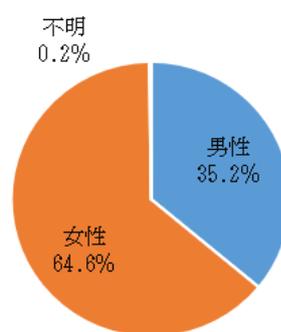


図3 全国性別報告割合
(3回目接種以降)



(イ) 年齢別の副反応報告数

本市では40代が多く、ファイザー社では40代、モデルナ社では20代が多かった。
 全国では3回目接種以降の集計であるが、50代が多く、ファイザー社では50代、モデルナ社では70代が多かった。(表2)

表2 年齢別副反応報告 (件数)

		0~4歳	5~11歳	12~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	不明
大阪市	ファイザー社	/	/	10	15	35	56	72	57	42	61	58	0
	モデルナ社	/	/	0	10	40	23	16	18	7	8	0	0
	アストラゼネカ社	/	/	/	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	武田社(ノババックス)	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一三共社	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5~11歳用ファイザー社	/	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6か月~4歳用ファイザー社	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
全国	ファイザー社※	/	/	82	163	388	483	650	711	541	517	555	0
	モデルナ社※	/	/	3	39	175	157	216	234	205	243	178	3
	アストラゼネカ社	/	/	0	0	0	0	4	3	1	1	0	0
	武田社(ノババックス)	/	/	2	1	5	14	10	8	2	1	0	0
	5~11歳用ファイザー社	/	150	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6か月~4歳用ファイザー社	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※前述に記載したとおり、3回目接種以降の報告数を記載。

ウ 症状

(ア) 症状の程度

本市ではファイザー社で「重い」115件、「重くない」281件、「不明」10件、モデルナ社で「重い」34件、「重くない」88件、「不明」0件、アストラゼネカ社で「重い」2件、「重くない」0件、「不明」0件であった。

全国ではファイザー社で「重い」7,817件、「重くない」24,061件、モデルナ社で「重い」1,371件、「重くない」4,360件、アストラゼネカ社で「重い」11件、「重くない」5件、武田社で「重い」12件、「重くない」31件、5~11歳用ファイザー社で「重い」41件、「重くない」108件、6か月~4歳用ファイザー社で「重い」4件、「重くない」6件であった。

本市ではファイザー社の方が「重い」と判断された割合が高くなっており、全国でもファイザー社の方が「重い」と判断された割合が高くなっている。(図4, 5, 6, 7)

副反応の症状は、発熱、頭痛、倦怠感(疲労)、接種部位の痛み、吐き気・嘔吐の順に多かった。(図8)

図4 大阪市 ファイザー社 症状の程度の割合

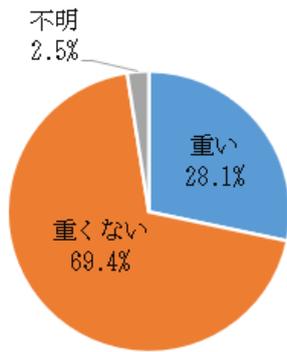


図5 全国 ファイザー社 症状の程度の割合

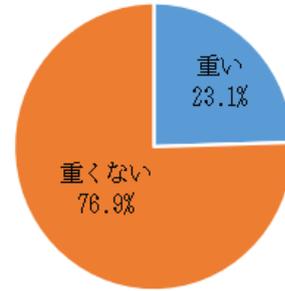


図6 大阪市 モデルナ社 症状の程度の割合

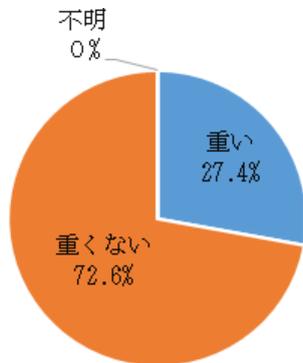


図7 全国 モデルナ社 症状の程度の割合

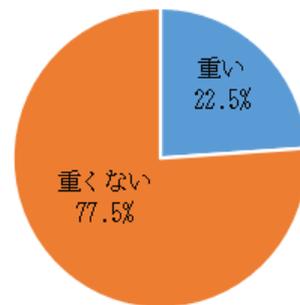
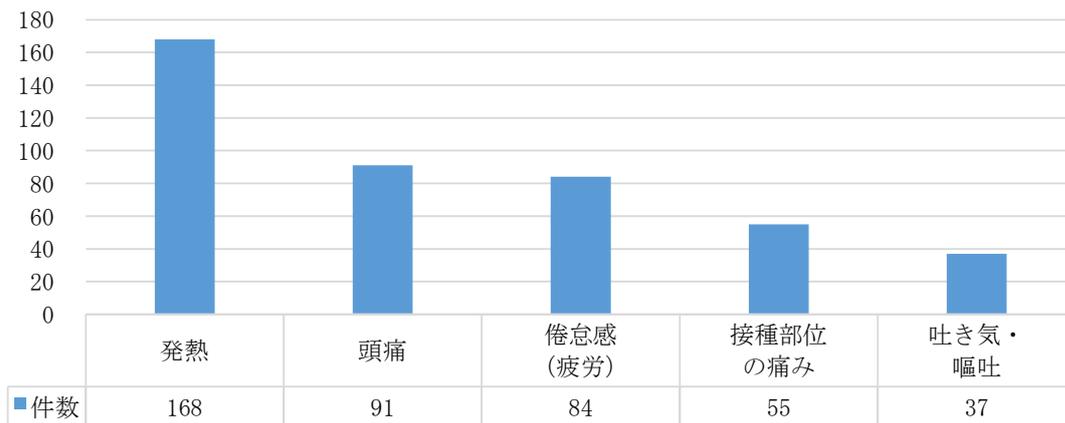


図8 副反応の症状【上位5位】(件数)



(イ) アナフィラキシー等

報告基準のうち、アナフィラキシーと判断されていたものは、本市ではファイザー社で34件、モデルナ社で11件、他は報告なしであった。全国ではファイザー社で2,966件、モデルナ社562件、武田社15件、5～11歳用ファイザー社14件、6か月～4歳用ファイザー社1件であった。血栓症（TTS）、心筋炎、心膜炎、熱性痙攣は以下の表どおりである。（表3）

表3 報告基準別報告（件数）

	大阪市						全国					
	アナフィラキシー	TTS（※）	心筋炎	心膜炎	熱性痙攣	ギラン・バレー症候群	アナフィラキシー	TTS（※）	心筋炎	心膜炎	熱性痙攣	ギラン・バレー症候群
ファイザー社	34	3	4	1	0	4	2,966	76	187	58	3	146
モデルナ社	11	0	2	0	0	0	562	32	104	28	0	33
アストラゼネカ社	0	1	0	0	0	0						
武田社(ノババックス)	0	0	0	0	0	0	15	0	2	0	0	0
5～11歳用ファイザー社	0	0	0	0	0	0	14	0	6	2	4	1
6か月～4歳用ファイザー社	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0

心筋炎・心膜炎関係の副反応報告数は、モデルナ社が多く、20件中12件がモデルナ社で10代・20代男性はファイザー社とモデルナ社を合わせて14件であった。（表4）

10・20代男性の心筋炎・心膜炎の転帰は5名が回復、5名が軽快、3名が未回復、1名が記載なしであった。

表4 心筋炎・心膜炎関係の副反応（件数）

	全年齢	うち10代・20代男性
ファイザー社	8	7
モデルナ社	12	7

※前回の接種事業報告書に比べ、報告基準が、①「心筋炎」、②「心膜炎」、③その他の症状に「心筋炎」か「心膜炎」の記載ありのどれかに当てはまるものの集計に変更。

2 予防接種健康被害救済制度

引き続き、予防接種健康被害救済制度に係る請求について、府を通じて国への進達を行い、国からの認否結果を区保健福祉センターを通じて通知した。

(1) 種類・給付額

定期接種のA類疾病と同内容の請求が可能であり、同水準の給付額が適用される。

表5 種類・給付額一覧

種類・給付額	A類・臨時 ※B類臨時は除く
医療費	保険適用の医療に要した費用から、健康保険等による給付の額を除いた自己負担分、及び入院時食事療養費標準負担額等。
医療手当 (月額)	1か月の間に 通院3日未満 35,800円 通院3日以上 37,800円 入院8日未満 35,800円 入院8日以上 37,800円 入院と通院がある場合 37,800円
障害児養育年金 (年額)	1級 1,617,600円 2級 1,293,600円 ※条件により介護加算あり。 ※特別児童扶養手当等の額を除く。
障害年金 (年額)	1級 5,175,600円 2級 4,138,800円 3級 3,104,400円 ※条件により介護加算あり。 ※障害基礎年金等の額を除く。
死亡一時金	45,300,000円 ※障害年金の受給期間により額の調整あり。
葬祭料	212,000円
介護加算(年額)	1級 846,200円 2級 564,200円

(令和5年4月改訂)

(2) 請求・進達・認定等の状況(令和6年1月末現在)

ア 請求件数 計259件(請求人数213人)

内訳(請求1件あたり、複数の種類を含む場合も、それぞれ種類ごとに計上した。)

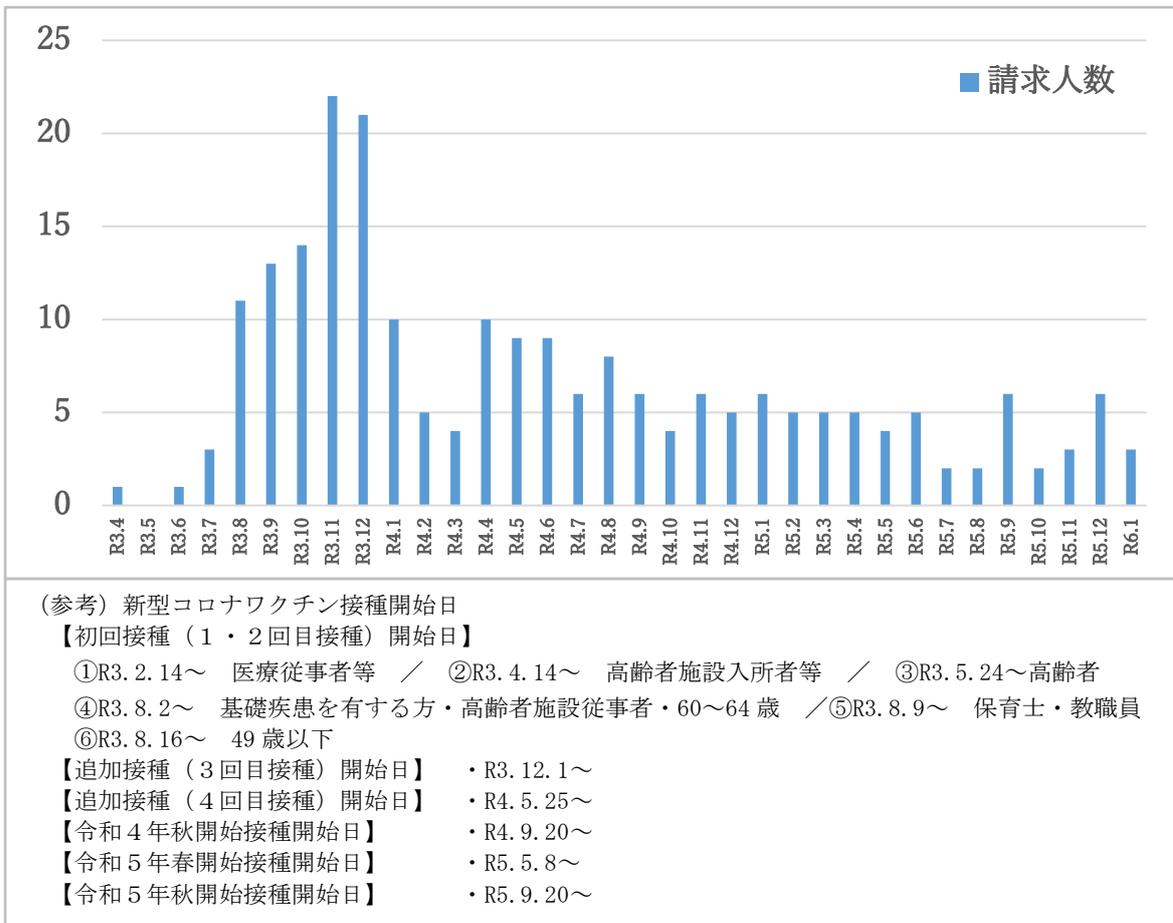
(ア) 医療費・医療手当 190件(うち、予防接種との因果関係が比較的明らかなアナフィラキシー等の即時型アレルギーに係る医療費・医療手当 14件)

(イ) 障害年金 15件

(ウ) 死亡一時金 27件

(エ) 葬祭料 27件

図9 月別請求人数の推移



イ 進達件数 計 236 件

(ア) 予防接種との因果関係が比較的明らかなアナフィラキシー等の即時型アレルギーに係る医療費・医療手当 14 件（うち、認定件数 14 件、否認件数 0 件、（認定率 100%））

(イ) 予防接種健康被害調査委員会審議済件数…222 件（うち、認定 98 件、否認 19 件、結果待ち 105 件）

ウ 取り下げ等件数 9 件

エ 進達予定及び調査委員会審議未実施件数 23 件

オ 国からの認否結果通知

国から本市へ認否結果の通知があったものは、予防接種との因果関係が比較的明らかなアナフィラキシー等の即時型アレルギーに係る医療費・医療手当が 14 件、上記以外の医療費・医療手当が 80 件、死亡一時金が 9 件、葬祭料が 9 件、否認が 19 件である。

(3) 相談・請求窓口

ア 区への通知

請求書類について、不備の訂正や追加資料の提出が必要な場合は、区宛てに事務連絡を発出し、請求者への説明が遺漏なく行えるよう引き続き努めた。

(参考) 事務連絡発出件数 (令和5年2月以降) 87件

- ・新型コロナワクチンに係る予防接種健康被害救済制度の必要書類の不備について
- ・新型コロナワクチンに係る健康被害救済制度の追加資料の提出について

イ 市民への周知

本市ホームページに、「新型コロナワクチン接種に係る健康被害救済制度」として、制度の案内や記入例等を掲載した。

(4) 予防接種健康被害調査委員会

ア 開催方法

令和4年度第2回大阪市予防接種健康被害調査委員会から書面開催で実施

イ 開催状況

(ア) 令和4年度 第5回大阪市予防接種健康被害調査委員会 ※書面による開催

開催期間：令和5年1月31日～2月13日 進達日：令和5年3月20日 (28件)

(イ) 令和5年度 第1回大阪市予防接種健康被害調査委員会 ※書面による開催

開催期間：令和5年5月22日～6月2日 進達日：令和5年7月4日 (20件)

(ウ) 令和5年度 第2回大阪市予防接種健康被害調査委員会 ※書面による開催

開催期間：令和5年8月21日～8月31日 進達日：令和5年11月1日 (14件)

(エ) 令和5年度 第3回大阪市予防接種健康被害調査委員会 ※書面による開催

開催期間：令和5年10月30日～11月10日 進達日：令和5年12月28日 (12件)

(オ) 令和5年度 第4回大阪市予防接種健康被害調査委員会 ※書面による開催

開催期間：令和6年1月22日～1月31日 進達日：令和6年2月末日予定 (11件)

第10 包括業務委託の概要

1 包括外部業務委託契約

(1) 経過

令和5年4月からも引き続き、包括業務委託を活用し事業を実施した。

(2) 契約内容

ア 契約名称

(ア) 令和5年度新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種業務委託

(イ) 令和5年度新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種業務委託（その2）

イ 契約期間

(ア) 令和5年4月1日～令和5年8月31日

(イ) 令和5年9月1日～令和6年3月31日

ウ 受注者

株式会社NTT マーケティングアクト ProCX

エ 業務委託内容

- ・コンサルティング業務
- ・接種券等の印刷・発送
- ・新型コロナワクチンコールセンターの設置、運営
- ・事務処理センターの設置、運営
- ・ワクチン接種予約システムの提供
- ・執務スペースの確保（令和5年6月末まで）
- ・ワクチンパスポートセンターの設置、運営
- ・ワクチン発注受付事務局の設置、運営

※以下、業務委託内容における個々の具体的な役割等について記載する。

2 接種券の印刷・発送

(1) 令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）

令和5年5月8日から接種開始となるオミクロン株対応ワクチン接種に向け、本市では、基礎疾患を有する方や重症化リスクの高い方が速やかに接種を受けられるよう、次の対象者の方へ令和5年4月19日以降に順次発送した。

なお、令和5年春開始接種は接種対象者が限定されることから、接種誤り防止のために案内チラシに基礎疾患の範囲を記載の上、接種対象者以外には令和5年春開始接種では接種できず、令和5年秋開始接種までお待ちいただく旨の注意喚起を記載した。

- ・オミクロン株対応ワクチン及びノババックス（令和4年11月8日以降に追加接種として接種した場合）を接種した方のうち、前回接種日から3か月の経過が見込まれる12歳以上の方
- ・令和5年2月8日以降に初回接種を完了した方のうち、前回接種日から3か月の経過が見込まれる方
- ・5～11歳用オミクロン株対応ワクチンを接種した方のうち、前回接種から3か月の経過が見込まれる5～11歳の方



(2) 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）

令和5年9月20日から接種開始となるオミクロン株(XBB.1.5)対応ワクチン接種に向け、本市では、次の対象者の方へ令和5年9月1日以降に順次発送した（乳幼児については、令和5年9月15日以降に順次発送）。

- ・令和5年春開始接種で接種した方のうち、前回接種から3か月の経過が見込まれる12歳以上の方
- ・令和4年秋開始接種または令和5年春開始接種で接種した方のうち、前回接種から3か月の経過が見込まれる5～11歳の方
- ・初回接種（1・2回目接種）を完了した方のうち、前回接種から3か月の経過が見込まれる5歳以上の方
- ・初回接種（1・2・3回目接種）を完了した方のうち、前回接種から3か月の経過が見込まれる生後6か月～4歳の方

なお、令和5年4月以降、国庫補助金の見直しが行われ、9月以降の補助は接種回数に応じた経費となったことから、経費削減の観点から以下の対応を行った。

(対応1) 他自治体から本市に転入された方(他自治体へ転出し、そのあと本市へ再転入した方も含む)で接種を希望される場合には、接種券の発行申請を行っていただく。

(対応2) ワクチン説明書は接種券に同封せず、同封のお知らせに掲載している厚生労働省のホームページの二次元コードから確認いただく。

(対応3) 令和5年9月1日及び9月4日発送分については区内特別郵便を使用(秋開始接種の実施は既に決まっておき、接種開始日や詳細は未定であったものの接種券発送の準備が可能であったため)。

(対応4) 一斉送付は、令和5年11月30日の発送を以って終了。令和5年9月19日までに令和5年春開始接種または初回接種が完了し接種券が届かない方や、同年9月20日以降に初回接種が完了し接種を希望される場合には、接種券の発行申請を行っていただく。

(3) 要配慮者への対応

令和4年度までの対応と同様。なお、これまで要配慮者へ接種券を発送する際は、接種券番号を再発番した接種券を発行し居所等に発送していたが、集団接種予約システムが令和5年5月末で終了し、接種兼番号を変える必要性がないことから、令和5年6月13日からは接種券番号の変更は行わず、最終の接種券発行時の接種券番号を継続して使用することとした。

(4) 通称名を有する方への接種券の印字

令和5年春開始接種時は、これまでに本名で発送した方以外の予診票の自署欄を確認し、通称名の場合は通称名、本名の場合は本名で発行した。

令和5年秋開始接種時は、令和5年春開始接種用の接種券を本名で発送した方については、同様に本名で発送した。

3 コールセンター

(1) 業務概要

ワクチン接種に関する市民等からの電話、FAX、メールによる相談・問い合わせなどの対応や適切な情報提供を行った。令和5年春開始接種からは、集団接種会場の設置を行わなかったため、集団接種会場の予約受付業務を終了した。

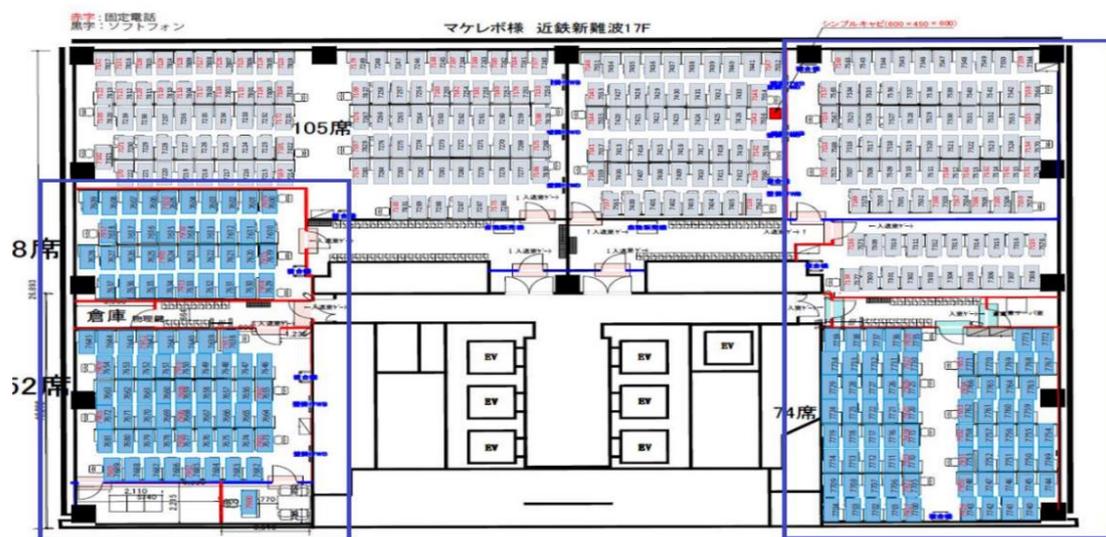
また、令和6年3月31日の特例臨時接種の終了に伴い、接種券の発行・再発行の受付業務を終了することとした。

対応業務の減少や受電数等の動向により、オペレーターの配置人数の適正化を図るため、随時精査し、オペレーターの最大席数を調整した。

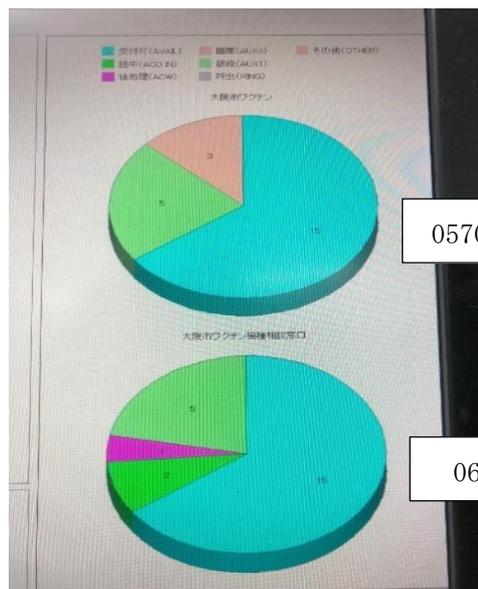
(2) 業務実施場所

- ・難波コンタクトセンター（令和4年5月1日以降、1拠点で運営）：大阪市浪速区

図1 難波コンタクトセンター見取図



コールセンター内部写真



受付状況モニター



オペレーター席の様子

① 端末機

接種管理システム

② 端末機

予約システム

問合せ時インターネット検索用

※対応履歴システム (Kintone)

※FAQ システム

※委託事業者がコールセンター運営のため独自開発

オペレーター席には、1台の電話機、2台の端末機が設置されている。

①端末機はLGWAN環境に接続し、接種管理システムのみを閲覧可能とした。

②端末機はインターネット環境に接続されているため、様々な業務に利用した。

オペレーターの受付状況は、スーパーバイザー (SV) 席で受電状況のモニターを行った。

(3) 運営日等

・運営期間：令和6年3月31日(日)まで ※年末年始(12/29から1/3)を除く
令和6年3月29日(金)まで (令和5年12月13日付でホームページ公表)

・運営時間：(全日) 午前9時～午後5時30分 (令和3年3月1日～令和3年4月18日)
(全日) 午前9時～**午後9時** (令和3年4月19日～令和5年3月31日)
(全日) 午前9時～**午後6時** (令和5年4月1日～令和5年12月28日)

(平日) 午前9時～午後6時 (令和6年1月4日～**令和6年3月29日**)

※**太字下線部**は各時点における変更点

(4) コールセンターでの各種対応

コールセンターにトリオフォン(三者間通話)を導入し、引き続き多言語への対応を実施した。(対応言語：英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語、フィリピン語)

また、本市ホームページ上に、専用問合せフォームを掲載し、メールでも引き続き回答した。

聴覚に障がいのある方をはじめ、電話による相談が難しい方からは、FAXにより問合せを受付し、FAXでも回答した。

(5) コールセンター実績 (令和4年9月～令和6年1月)

		2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月
1.電話 すべて	①入電数	23594	29488	216489	32883	14915	7719	6090	12148	20058	8093
	②放棄個数	116	1928	140697	3088	0	0	0	13	0	0
	③応答呼数	23478	27560	75792	29795	14915	7719	6090	12135	20058	8093
	④応答率	99.5%	93.5%	35.0%	90.6%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%
2.メール		22	55	116	47	43	20	22	27	25	12
3.F A X		17	30	71	22	9	7	3	4	13	3
合計		23517	27645	75979	29864	14967	7746	6115	12166	20096	8108
お問合せ項目		2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月
接種場所		2636	3486	12492	3460	1146	510	547	6242	12402	3475
接種対象者		1934	647	933	359	172	90	84	952	1580	507
接種券		3289	4739	6804	4338	2974	2168	1877	2394	2305	1447
予約方法		2662	3092	10447	2578	849	270	203	275	502	43
予約方法(ネット予約操作方法)		96	138	528	139	53	18	7	12	28	2
持参物		54	31	96	67	27	10	8	1	16	3
副反応		150	97	185	159	41	28	14	11	46	41
ワクチン		1997	1997	3763	1035	483	190	153	197	302	148
接種済証		163	274	260	208	91	49	47	29	23	19
ワクチンバスポート		1566	1933	1455	1469	1492	1503	1438	1182	367	300
問合せその他		628	763	1431	764	496	229	194	205	317	244
予約受付 1回目		10	0	0	0	0	0	0			
予約受付 2回目		0	0	0	0	0	0	0			
予約受付 1回目&2回目		0	0	0	0	0	0	0			
予約受付 3回目		861	0	0	0	0	0	0			
予約受付 4回目		3833	0	0	0	0	0	0			
予約受付 オミクロン			6939	28640	10143	4318	1306	702			
予約変更		829	483	1726	1030	488	210	84			
予約キャンセル		624	269	1547	869	232	80	39			
予約内容問合せ		68	71	515	193	36	13	8			
接種券再発行		1532	2108	2979	2421	1789	857	535	351	1685	1616
接種券再発行(点字対応)		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		583	578	2178	632	280	215	175	315	523	263
合計		23517	27645	75979	29864	14967	7746	6115	12166	20096	8108
合計中	ご意見	3	3	4	1	1	0	4	2	0	0
	クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	合計
1.電話 すべて	①入電数	4541	3270	15985	10113	4318	2225	1494	413423
	②放棄個数	0	0	40	2	0	0	0	145884
	③応答呼数	4541	3270	15945	10111	4318	2225	1494	267539
	④応答率	100.00%	100.00%	99.75%	99.98%	100.00%	100.00%	100.00%	64.7%
2.メール		10	9	18	15	3	1	3	448
3.F A X		2	0	5	4	0	0	1	191
合計		4553	3279	15968	10130	4321	2226	1498	268178
お問合せ項目		2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	合計
接種場所		1714	1082	5640	1966	670	333	302	58103
接種対象者		372	393	413	55	17	16	37	8561
接種券		838	606	3884	3480	1411	706	504	43764
予約方法		15	24	2367	423	109	59	21	23939
予約方法(ネット予約操作方法)		0	0	0	0	0	0	0	1021
持参物		3	1	6	12	4	4	1	344
副反応		29	14	24	37	23	12	5	916
ワクチン		89	152	725	506	170	71	56	12034
接種済証		4	3	8	13	9	7	4	1211
ワクチンバスポート		166	123	81	123	109	57	37	13401
問合せその他		229	256	488	350	165	111	77	6947
予約受付 1回目									10
予約受付 2回目									0
予約受付 1回目&2回目									0
予約受付 3回目									861
予約受付 4回目									3833
予約受付 オミクロン									52048
予約変更									4850
予約キャンセル									3660
予約内容問合せ									904
接種券再発行		940	483	1990	2906	1505	757	409	24863
接種券再発行(点字対応)		0	0	1	0	0	0	0	3
その他		154	142	341	259	129	93	45	6905
合計		4553	3279	15968	10130	4321	2226	1498	268178
合計中	ご意見	0	0	1	0	1	1	0	21
	クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0

ワクチンコールセンター 席数の推移 (単位: 席 (オペレーター、スバーバイザーの合計))



2021年4/19	接種券送付開始 (65歳以上)
2021年5/17	集団接種予約受付開始
2021年5/24	集団接種・個別接種開始
2021年12/1	3回目接種開始
2022年3/10	小児接種開始
2022年5/25	4回目接種開始
2022年9/6	小児3回目接種開始
2022年9/20	オミクロン株接種開始
2023年5/8	令和5年春開始接種開始
2023年9/20	令和5年秋開始接種開始
2024年3/31	特例臨時接種終了

4 事務処理センター

(1) 事務処理センターの運営

ア 事務処理センターの移設

接種件数の減少に伴い、令和5年6月から、業務スペースを4階、5階に集約して2フロアで業務を実施するとともに、保健所感染症対策課ワクチン接種等調整チーム（システム・事務処理担当 11名）も同5階フロアで業務を実施することにより、包括業務委託事業者との業務上の迅速な連携を可能とした。

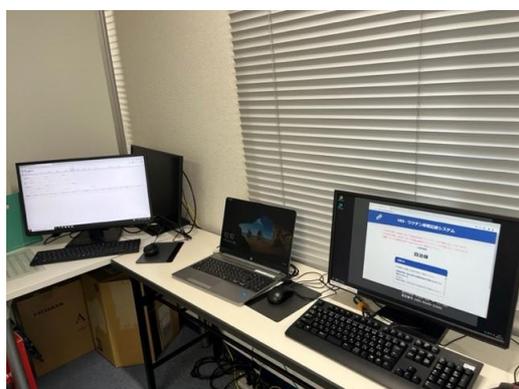
さらに、特例臨時接種が令和6年3月末の終了に伴い、令和6年3月には、業務スペースを5階1フロアに集約して、業務の効率化を図った。

イ 事務処理センターの人員体制

事務処理センターの従事人数を接種件数の減少に併せ、随時見直しを図ることにより、適切な人員配置により運営した。

従事人数の推移

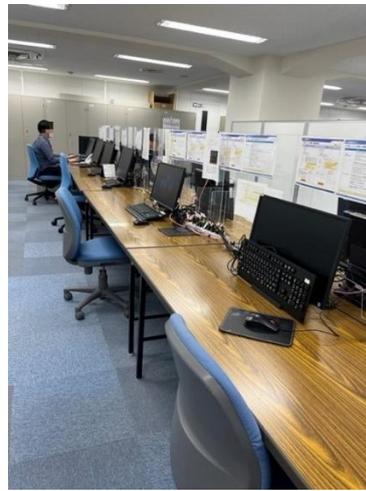
- ・ 令和5年4月～12月：50席（スーパーバイザ 11名、オペレータ 39名）
- ・ 令和5年1月：35席（スーパーバイザ 11名、オペレータ 24名）
- ・ 令和5年2月～3月：30席予定（スーパーバイザ 11名、オペレータ 19名）



事務処理センター 5階写真（本市事務スペース）



事務処理センター 4階写真



事務処理センター 5階写真

ウ 接種記録の管理（予診票処理）

令和5年9月20日から開始された「令和5年秋開始接種」ではオミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチンにワクチン種が変更されたが、「令和5年秋開始接種」期間に旧ワクチン種であるオミクロン株対応2価ワクチンを接種する間違い接種や、1人1回とされている「令和5年春開始接種」期間にオミクロン株対応2価ワクチンを2回接種する等の間違い接種が発生した。

間違い接種は、予防接種法に基づく接種として認められないため、接種管理システムにおいて、本来の接種券番号とは別の番号を附番して管理した。なお、VRS 上の間違い接種データは削除した。接種者には、オミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチン接種用として所要の期間経過後に接種券を再送し、個別接種医療機関に対しては、予防接種法に基づく接種として認められないため、接種費用の支払ができない旨を説明し、注意を促した。

(2) 接種券個別発送事務

ア 外交官等

外交官等の「外交」及び「公用」の在留資格を有する方へのオミクロン株対応ワクチン接種及び乳幼児（生後6か月以上4歳未満）、小児（5歳～11歳）の接種については、引き続き国通知のとおり領事館等からの申請に基づいて、接種券を発行した。

表1 外交官接種券発行状況（令和6年1月31日現在）

初回接種 計290名
インド 14名、イタリア 3名、インドネシア 53名、フランス 3名、台湾 17名、マレーシア 11名、タイ 30名、韓国 83名、モンゴル 15名、フィリピン 35名、中国 9名、ドイツ 11名、UNEP 2名、オランダ 4名
追加接種（3回目） 計260名
インド 19名、ドイツ 15名、イタリア 3名、台湾 16名、フランス 3名、タイ 30名、韓国 66名、フィリピン 43名、モンゴル 11名、インドネシア 36名、マレーシア 10名、中国 3名、UNEP 2名、オランダ 1名、オーストラリア 2名
追加接種（4回目） 計132名
イタリア 1名、フィリピン 34名、ドイツ 8名、イギリス 1名、タイ 17名、モンゴル 2名、インドネシア 10名、台湾 14名、UNEP 2名、韓国 35名、インド 6名、オランダ 1名、スイス 1名
追加接種（5回目） 計12名
イタリア 1名、オランダ 1名、タイ 2名、インドネシア 2名、ドイツ 1名、韓国 5名
乳幼児接種 計6名
タイ 2名、インド 2名、インドネシア 1名、ドイツ 1名

イ 接種券発行・再発行

(ア) 接種券発行・再発行

引き続き、接種券を紛失等した場合、接種券の再発行申請により再発行した。

また、令和5年11月30日をもって、接種券の一括発送を終了したため、令和5年12月からは、接種券が手元にない方で接種を希望される場合は、接種券発行申請による個別発送に切り替えた。これに伴い、事務処理センターでの接種券発行件数は増加したが、原則翌日に発送できる体制を整えた。

(イ) 特例臨時接種終了に伴う接種券発行・再発行の申請受付の最終受付

令和6年3月31日をもって、特例臨時接種が終了することに伴い、令和6年3月19日を接種券の発行・再発行申請の最終受付日とした。終了にあたっては、広報紙や本市ホームページ等で周知した。

これに伴い、大阪市行政オンラインシステムの申請受付ページも同日に閉鎖した。

表2 月別接種券発行件数 初回接種

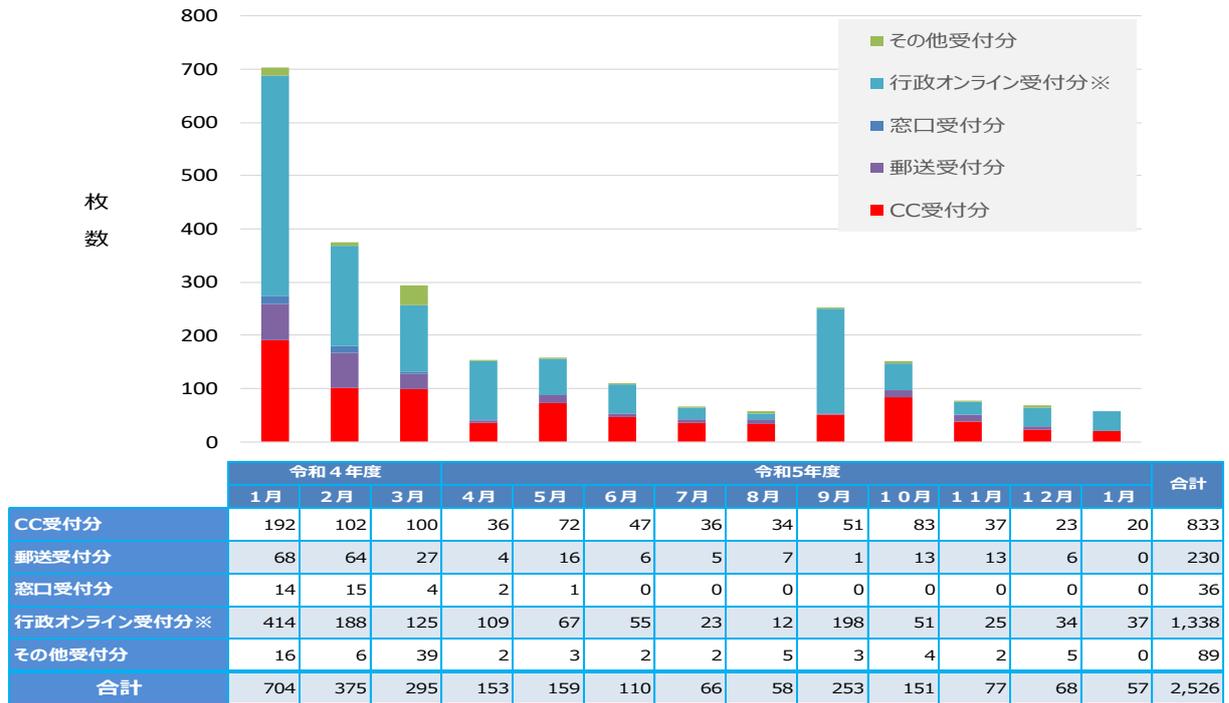


表3 月別接種券発行状況 追加接種（3回目接種）

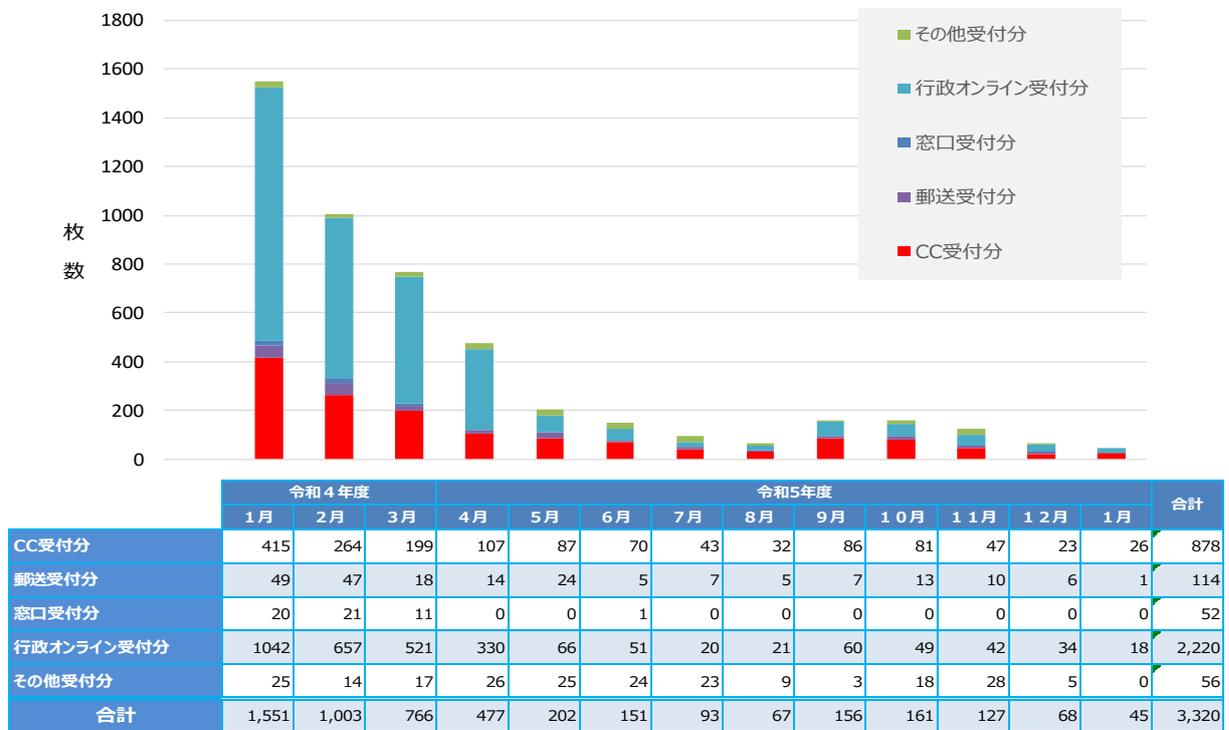


表4 月別接種券発行状況 追加接種（4回目）

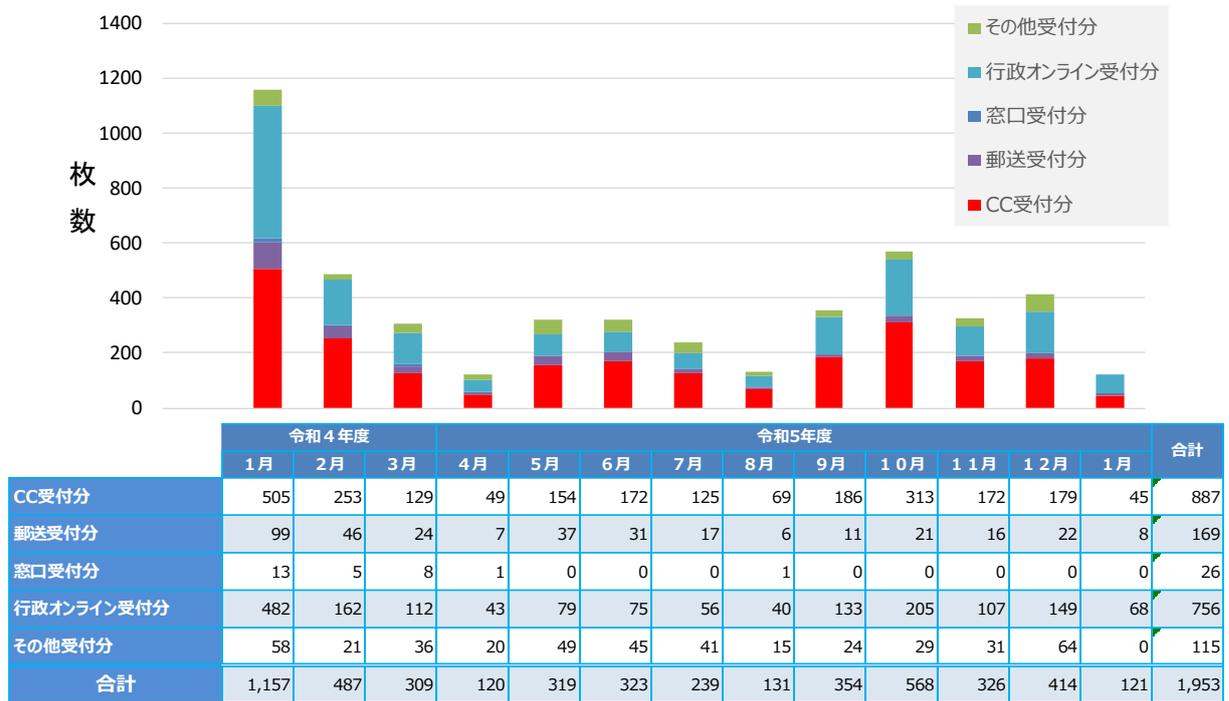


表5 月別接種券発行状況 追加接種（5回目）

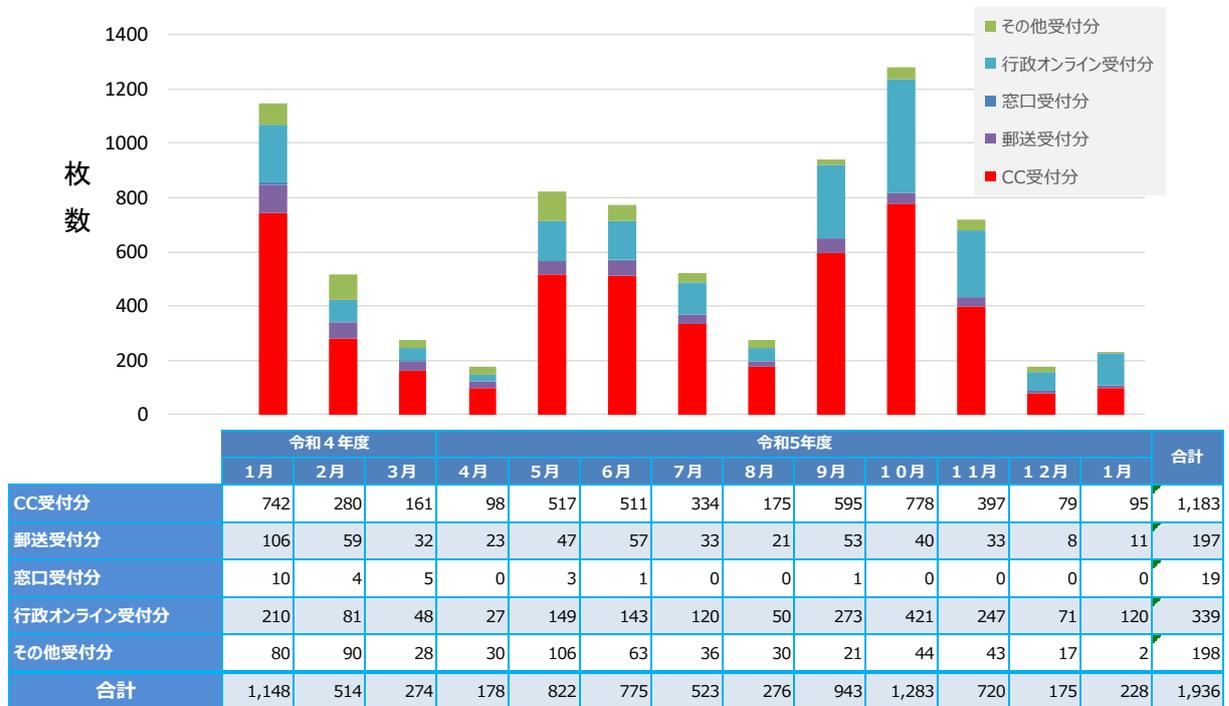


表6 月別接種券発行状況 追加接種（6回目）

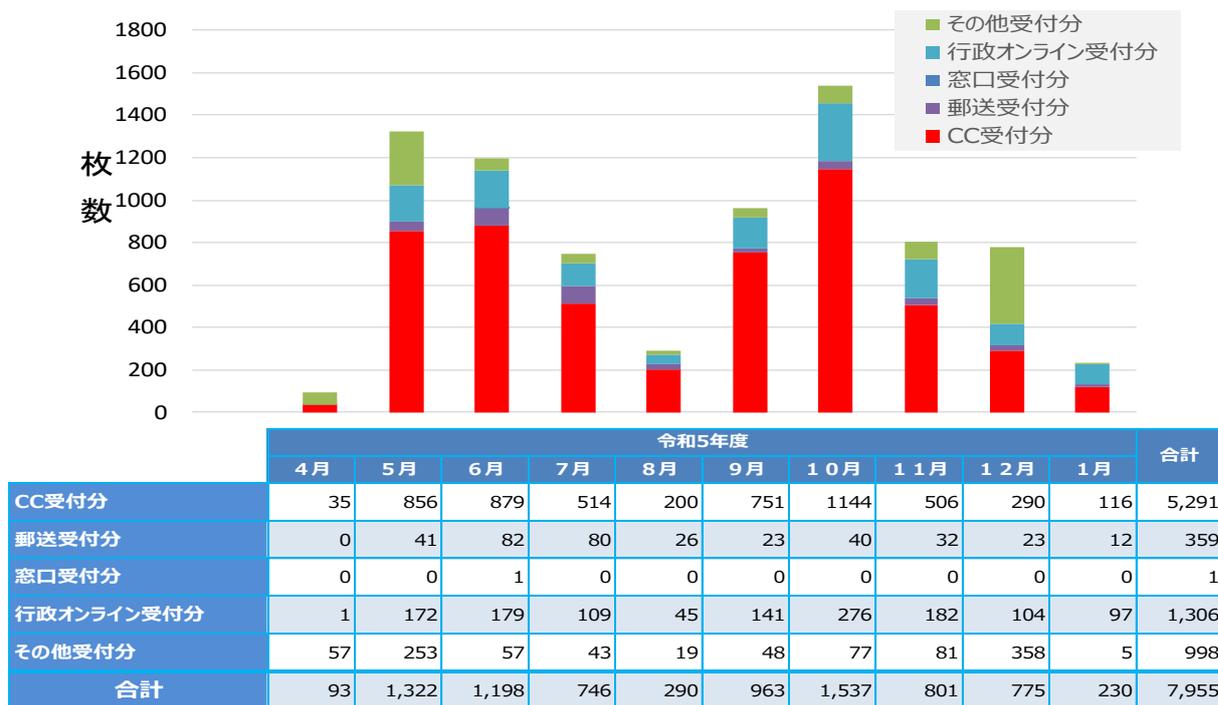


表7 月別接種券発行状況 追加接種（7回目）

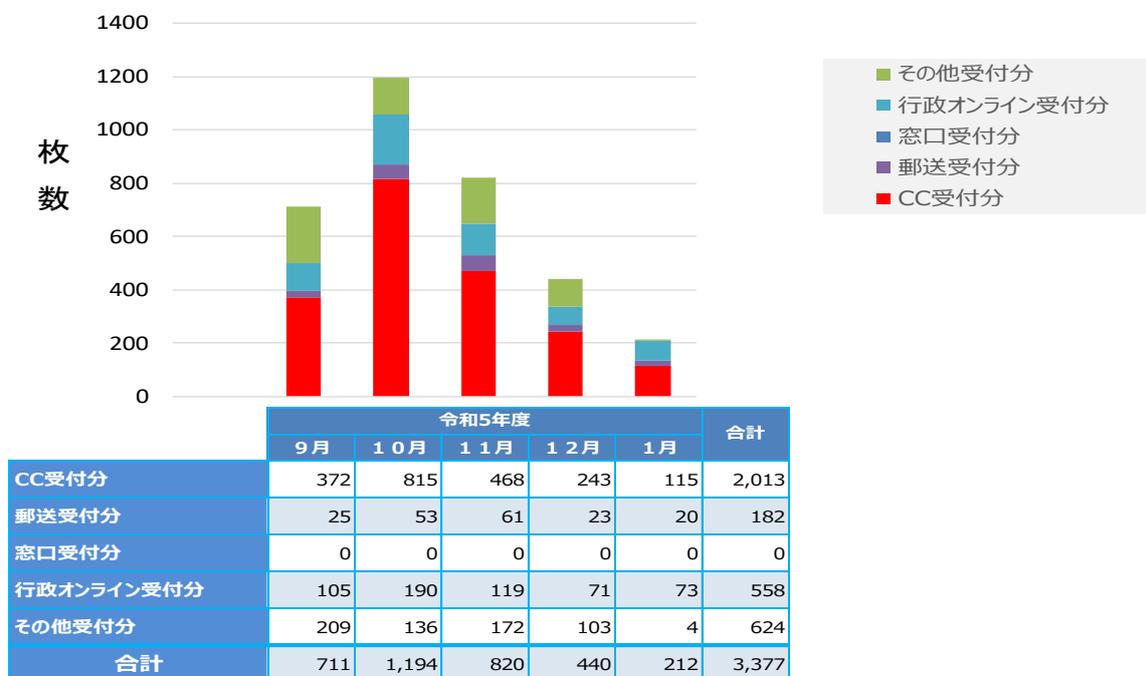
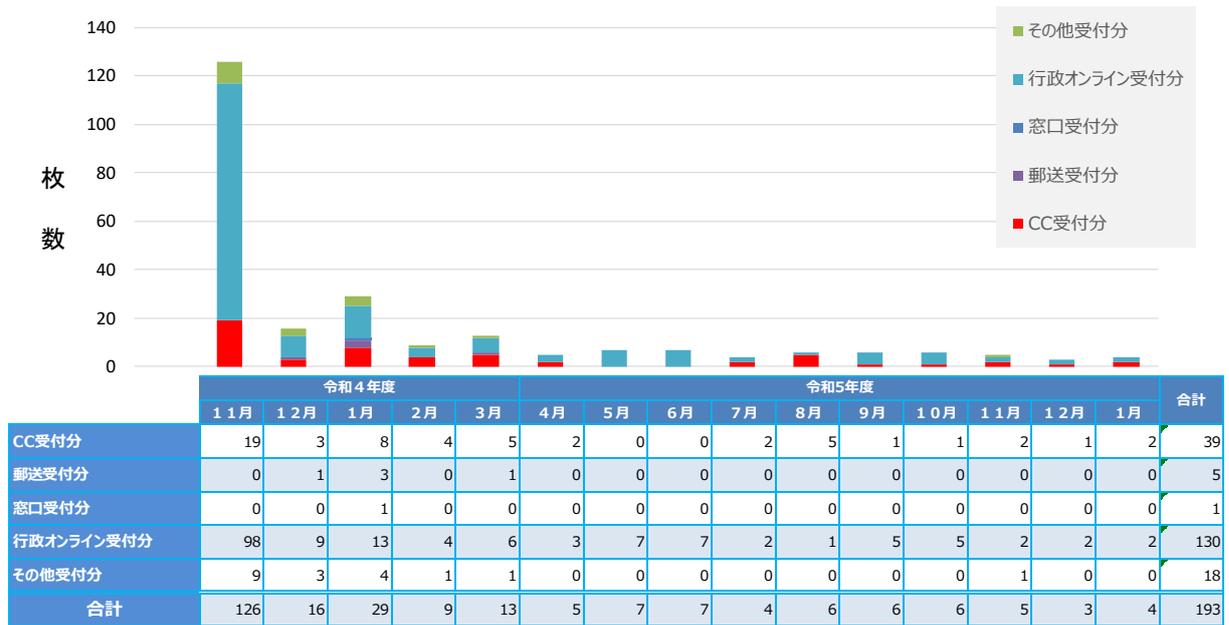


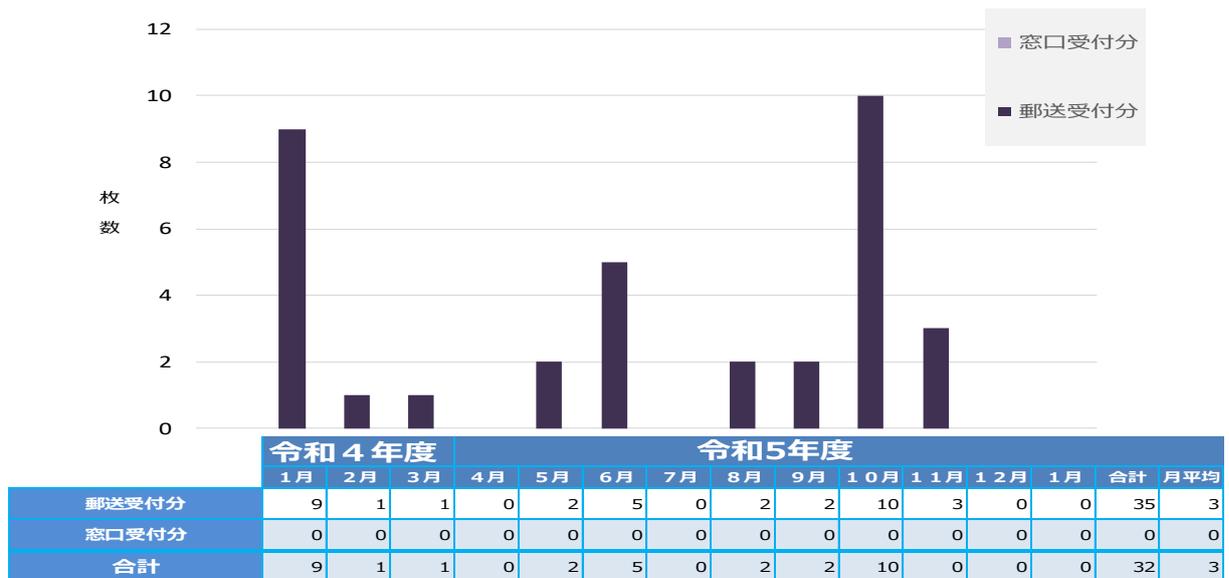
表8 月別接種券発行状況 乳幼児



(3) 住所地外接種届出済証の発行

やむを得ない事情により、住民票所在地以外でワクチン接種を受ける場合、「住所地外接種届」を、厚生労働省のコロナワクチンナビによる Web 申請、もしくは郵送により受け付け、「住所地外接種届出済証」を発行・送付した。

表9 住所地外接種届出済証発行件数



5 予約システムの運用

(1) 令和4年秋開始接種

令和4年秋開始接種の期間中ではあったが、集団接種会場における接種者の減少に伴い、令和5年3月26日をもって、集団接種会場を終了した。これに伴い、予約システムへのログインを制御し、予約サイトトップページに本市集団接種会場終了のメッセージを掲出した。

(2) 令和5年度接種

令和5年3月29日開催の大阪市新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、国方針が「個別接種医療機関を中心とする体制への移行を進めることが適当」としていることに加え、令和5年春開始接種・秋開始接種の各接種期間内に、個別接種医療機関で想定希望者の接種が可能であることから、令和5年度の接種体制は、集団接種会場の設置を見送り、個別接種を中心とする体制へ移行すると決定した。

これに伴い、予約サイトのトップページに、システム閉鎖に関するお知らせを掲出した。



予約システムトップページ

(3) 予約システム運用終了に伴う個人情報保護に関する処理

予約システムは、予約者の氏名、生年月日、ワクチンの接種履歴等を保有していたことから、システム運用終了後に委託事業者により予約システム内のデータの廃棄、並びに廃棄証明書の提出をさせた。

6 接種管理システムの運用

(1) システム改修

新たな追加接種や乳幼児・小児接種の開始に伴い、接種記録が適切に登録できるよう改修を行い、運用を継続した。

接種管理システム画面

(2) VRS からの接種記録の取込み

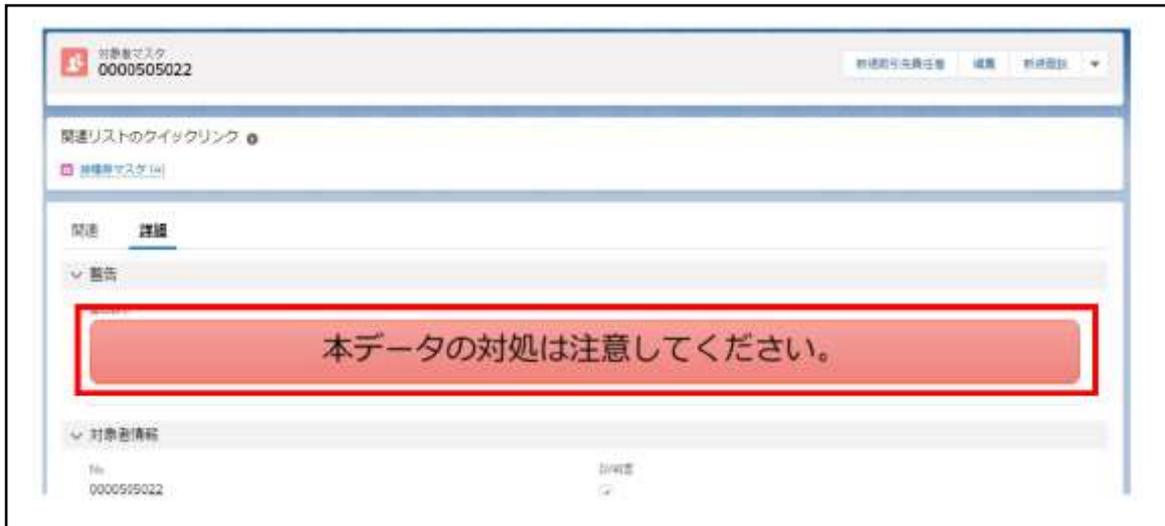
追加接種の接種券発送において、医療機関から予診票が未送付の方や他自治体で接種後に本市に転入した方などの接種記録は接種管理システムでは保有していないため、適切な追加接種の接種券の発送に支障をきたすことが懸念された。このため、VRS に記録されている接種記録のうち、接種管理システムが保有していない接種記録を CSV ファイルで取込み、仮登録のうえ、接種券発行を行った。

CSV ファイルで取込んだ接種記録は、「医療機関が VRS タブレットで読み込んだ接種記録で、予診票が事務処理センターに届いていないもの」と「本市転入者で、VRS の他自治体エリアに接種記録が記録されているもの」である。

(3) REF（支援）データの取込み

DV 被害者等のいわゆる REF（支援）情報を市民局からの情報に基づき、1 か月に 2 回程度接種管理システムに登録した。また、「住民基本台帳で REF（支援）が反映されていない方」並びに「虐待により施設等に入所措置等がとられている障がい者及び高齢者で、住民票を移さず住所を秘匿にしている方」については、各区の住民情報担当課及び保健福祉担当課に 3 か月に 1 回程度、対象者の有無について照会し、該当者の情報を接種管理システムに登録した。

登録された REF（支援）データは、接種管理システム上に要配慮者である旨の注意喚起として表示され、コールセンター等での対応時や接種券発行、発送時に活用した。



接種管理システム画面 要配慮者注意喚起画面

(4) データの活用

接種管理システムは、「被接種者の住所」や「個別接種医療機関の医療機関コード」などを保有しているため、接種記録と組み合わせてデータの活用を行った。

【活用例】

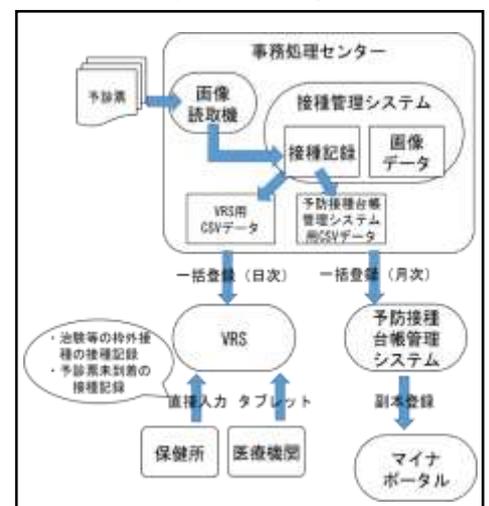
- ・行政区ごとの接種率の算出
 - 区長会議に提出し、区における接種推進に活用
 - 地域性を考慮した区における接種推進策の立案
- ・居住地と接種場所の関係
 - 集団接種会場の設置検討
- ・医療機関ごとの接種回数の算出
 - 接種推進協力金の対象医療機関の審査
- ・居住地と接種回数の算出
 - 接種券印刷、発送にかかる対象者抽出

(5) 予防接種台帳管理システムとの連携

接種管理システムに登録された接種記録を予防接種台帳管理システムへ連携した。当初は連携データをCD-Rで事務処理センターから保健所（あべのメディックス）まで運搬し、受け渡しを行っていたが、他自治体での個人情報漏えい事件を受け、LGWAN 端末のフォルダでの受け渡しとした。

予防接種台帳管理システムに登録された接種記録は、中間サーバーに副本登録がされ、市民からはマイナポータル上での閲覧を可能としていたが、VRSはタブレットからの登録等で接種記録が即時に登録されるのに対し、マイナポータルへの連携は、予防接種台帳管理システムから月1回（毎月26日）の登録としていたため、市民が閲覧できるマイナポータルの接

図2 接種記録連携フロー



種記録と VRS から反映される接種証明アプリの接種記録が一致しない期間が生じた。ともにマイナンバーカードを利用しスマホ等で閲覧できる接種記録であるにもかかわらず、「接種記録が双方で異なる」との市民からの問い合わせが多くあった。

これを受け、両システムでの表示のタイムラグを短くするため、予防接種台帳管理システムからの副本登録のタイミングを月次から日次に変更した。

なお、国の副本登録の開始時期の都合上、6回目以降の接種記録については、令和6年6月以降になり、市民がマイナポータルから6回目以降の接種記録を確認できるのは特例臨時接種の終了後となる。

(6) 住民基本台帳システム端末の返却

住民票の異動情報の把握（市民要件（住定日、住民異動日）の把握）及び接種対象者の正確な情報（外字等）を確認するため、こころの健康センターの総合福祉システム端末を転用し、ワクチンチームの執務室に住民基本台帳システム端末を設置・活用してきたが、特例臨時接種終盤期を迎え、新たに接種券の発送がなくなる（外字等を確認する必要がない）こと等から、令和6年2月末でこころの健康センターへ端末機を返却し、以後の住民基本情報の把握は、保健所（あべのメディックス）の予防接種台帳管理システムで対応することとした。

7 ワクチン発注受付事務局

(1) ワクチン発注受付システムの運用終了

12歳以上用のファイザー社ワクチンについて、令和5年度から大阪市行政オンラインシステムによる発注受付への移行に伴い、ワクチン発注受付システム（FAX または web による受付）の運用を、令和5年3月末をもって終了した。

(2) 大阪市行政オンラインシステムの利用に係るサポート

受付方法の変更に伴い、利用者登録の方法、申請にあたっての操作方法について個別接種医療機関からの問い合わせに対応した。

8 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書

(1) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書発行に係る体制

本市では、新型コロナウイルスワクチンサポートセンターを設置し、新型コロナウイルス感染症予防接種証明書を発行した。

同証明書の申請件数が、新型コロナウイルス感染症の感染症類型見直しに伴い、大幅に減少したことを受け、ワクチンサポートセンターの人員体制及び執務スペースを縮小して運営した。

また、国から令和6年度以降の接種証明に関する運用方法が示され、接種証明アプリによる電子版接種証明の交付が令和6年3月31日23時59分で終了、紙版のコンビニ交付については、令和6年3月31日23時で終了することとなり、令和6年4月1日以降は、紙版の証明書のみを市区町村にて交付することとなった。

ワクチンサポートセンターは、特例臨時接種の終了及び申請・発行件数等の減少に伴い、令和6年4月1日以降は、業務委託での運営を終了し、紙版の証明書の発行を直営にて行う。

【ワクチンサポートセンター所在地の変遷】

令和3年7月26日～令和4年1月21日 船場センタービル2号館

令和4年1月22日～令和5年5月21日 日本精化ビル1階

令和5年5月21日～令和6年3月31日 日本精化ビル5階

見本：接種証明
(紙)



見本：接種証明
(アプリ)



(2) 法定外の接種の接種証明

予防接種法に基づく接種（自治体が実施主体となる接種）については、接種記録を自治体が記録することとされていた。しかし、令和4年12月に予防接種法が「定期の予防接種等に相当する予防接種」（法定外の接種）についても「枠外接種」として記録するよう、次のように改正された。

- ・海外在留法人等に対するワクチン接種事業による予防接種
→実施主体：外務省
- ・防衛省が雇用し在日米軍基地に勤務する従業員に在日米軍が行う予防接種
→実施主体：防衛省
- ・製薬企業等が行う治験等
→実施主体：民間企業

これらの接種について被接種者から接種証明の発行申請があれば、接種の事実を確認できる書類の提出を求め、VRSに枠外接種として登録し、自治体が発行する証明に記載することとされた。

(3) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書の交付数の推移

(単位：件)

年 月	2023. 2	2023. 3	2023. 4	2023. 5	2023. 6	2023. 7	2023. 8
紙交付	2,108	1,834	1,495	393	217	144	87
アプリ交付	23,758	20,479	12,511	7,712	7,507	5,190	3,514
コンビニ交付	688	646	485	155	62	74	41

年 月	2023. 9	2023. 10	2023. 11	2023. 12	2024. 1
紙交付	46	32	24	23	15
アプリ交付	3,437	6,487	5,422	3,705	2,159
コンビニ交付	39	35	20	28	16

第 11 VRS

VRS の運用

(1) 特定個人情報保護評価 (PIA)

令和 5 年 3 月に自治体メニューの管理機能の実装がなされたが、この改修については国から「特定個人情報保護評価に関する規則 (平成二十六年特定個人情報保護委員会規則第一号) 第十一条における「重要な変更」に非該当となり得るため、評価の再実施は必ずしも必要でない」との見解が示され、ICT 戦略室 (現デジタル統括室) も「本市においても国の見解に従う」との判断により、特定個人情報保護評価 (PIA) は実施せず、特定個人情報保護評価書の修正のみを実施した。

(2) VRS サポートセンターの設置

ア 業務概要

個別接種医療機関における VRS の利用促進に向け、タブレット操作などに関する問い合わせに対応するため、VRS サポートセンターを設置した。

なお、タブレット操作方法等の案内は、本市作成の VRS 導入マニュアル及びデジタル庁の VRS に関するホームページに掲載されている資料を参考とした。

イ 業務実施場所

・NTT マーケティングアクト 神戸コンタクトセンター (令和 3 年 10 月 4 日～令和 3 年 12 月 20 日) : 兵庫県神戸市中央区

・NTT マーケティングアクト ProCX 大阪コンタクトセンター (令和 3 年 12 月 21 日～令和 5 年 3 月 31 日) : 大阪市中央区

ウ 運営時期

(ア) 運営期間

令和 3 年 10 月 4 日 (月) ～令和 5 年 3 月 31 日 (金)

※日・祝日、年末年始 (12/29～1/3) を除く。

(イ) 運営時間

正午～午後 5 : 00

(3) VRS タブレットの回収

ア 未使用タブレットの回収

本市においては、すべての個別接種医療機関にタブレットを送付し利用を促進したが、令和 5 年 2 月 24 日、国から事務連絡「令和 5 年度に向けた VRS 用タブレット端末の当面の運用について」が発出され、当該事務連絡において「一定期間における利用がない端末を中心に 1 万台超の端末を運用終了とし回収する」とされ、本市においても 458 台 (うち保健所保管分 23 台) のタブレットが回収対象とされ、国に返却した。

イ 特例臨時接種終了に伴う回収

令和 6 年 1 月 26 日付厚生労働省事務連絡「配布中の VRS 用タブレット端末の今後の運用と回収について」が発出され、特例臨時接種の終了に伴い、令和 6 年 4 月 30 日運用終了、5 月 10 日までに回収、との方針が示された。今後、国の指示に従いタブレットを保健所及び医療機関から返却する予定である。

第12 トピックスからの振り返り

1 令和5年春開始接種（令和5年5月8日～9月19日）

令和5年春開始接種は重症者を減らすことを第一の目的とし、まずは高齢者等、重症化リスクの高い方が接種対象とされ表1のとおり規定された。使用するワクチンについては、幅広い抗体産生が期待できるワクチンを使用することとされ、令和5年4月1日以降は従来型とオミクロン株の成分を含む2価ワクチンのみによる追加接種とされた。

また、重症化リスクが高くない健常者であっても、一定の割合で重症化する方が生じていること、健常者における有効性の持続期間等の十分なデータが得られていない現状から、重症化リスクが高い方と頻繁に接触する方については、一時的ではあっても感染予防効果と二次感染予防効果があり、特に感染拡大期においては、間接的に重症化リスクが高い方を保護する効果が期待されるため、接種対象者は表1のとおりとされ令和5年5月8日から接種開始とされた。

これ以降の接種については、65歳以上の高齢者及び5歳以上の基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方以外については、予防接種法第8条（接種勧奨）及び9条（努力義務）の規定が除外された。

これを受け、大阪府医師会及び大阪小児科医会と調整の上、個別接種医療機関及び高齢者施設等関係施設へ接種対象者及び使用ワクチン種類等を周知した。

令和5年8月7日以降は、初回接種の使用ワクチンが従来型ワクチンから、オミクロン株対応2価ワクチンに変更されたことに伴い、ワクチン種によって用法用量が異なることから関連資料を作成し、個別接種医療機関へ適正な接種管理の実施を促した。

表1 令和5年春開始接種における重症化リスクの高い方

令和5年春開始接種における重症化リスクの高い方	
高齢者（65歳以上の方）	
以下の基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方	
全ての年代	
<ul style="list-style-type: none"> ① 慢性の心臓、肝臓、腎臓又は呼吸器の病気がある方 ② 免疫の機能を低下させる病気にかかっている方 ③ 免疫の機能を抑制する治療を受けている方 ④ 免疫異常に伴う神経疾患又は神経筋疾患にかかっている方 ⑤ 神経疾患又は新警視監を原因として、身体機能が低下している方 ⑥ 染色体に以上のある方 ⑦ 血液の病気にかかっている方（18歳以上で、鉄欠乏性貧血にかかっている方は除く） ⑧ その他、新型異なウイルス感染症にかかった場合に重症化する恐れが大きいと医師が認める方 	
17歳以下の方のみ	18歳以上の方のみ
<ul style="list-style-type: none"> 1. 代謝性疾患にかかっている方 2. 悪性腫瘍がある方 3. 膠原病の方 4. 内分泌疾患にかかっている方 5. 消化器疾患にかかっている方 	<ul style="list-style-type: none"> 1. インスリンやその他の糖尿病治療で治療中又は合併症のある糖尿病の方 2. 睡眠時無呼吸症候群の方 3. 重い精神疾患にかかっている方 4. 知的障がいがある方 5. BMI（BMI=体重(kg) / 身長(m)²）が30以上の方

表2 令和5年春開始接種における接種対象者

令和5年春開始接種における接種対象者

- ① 65歳以上の高齢者
- ② 基礎疾患あり（表1のとおり）
- ③ 医療従事者等（公的関与規定の適用除外）

2 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日～令和6年3月31日）

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行は、オミクロン株XBB系統の亜系統が大半を占め、国内の流行も世界と同様の傾向にあり、流行主流株であるオミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチンを使用した接種が令和5年9月20日から開始された。

これ以降、生後6か月～4歳までを対象としたオミクロン株XBB.1.5対応ワクチンが新たに承認され、乳幼児における追加接種が可能となり、対象者は初回接種を完了した全ての方とされた。また、65歳以上の高齢者及び基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方以外については、予防接種法第8条（接種勧奨）及び9条（努力義務）の規定が除外された。

使用されるオミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチンは、ワクチン種で接種対象年齢や接種量、初回接種回数が異なるため、関連資料を作成し個別接種医療機関へ周知し、適正な接種実施を図るとともに間違い接種への注意喚起を図った。

3 高齢者施設における接種実施評価・検証

令和5年12月に高齢者施設における接種事業に携わった関係部局の職員によりワークショップを開催し、高齢者施設における接種事業の評価・検証を行い、課題抽出と解決策を提案した。

(1) 開催目的・ゴール

ア 目的

本市における新型コロナウイルスワクチン接種について、CSCA（Command and Control Safety Communication Assessment）の視点で健康危機管理事業課として、接種を希望する方に対し速やかに接種できる体制が確保できたかどうかを多角的に評価・検証した。

イ ゴール

高齢者施設における接種事業を検証した。

(2) 内容

ア 検証内容

項目：接種者の立場から接種するまでの過程における項目ごとに課題分けし、

「接種促進に貢献できたか」を軸とし事業内容を振り返る

① ワクチン配送計画は接種促進に貢献できたか

ワクチンの発注方法は適切であったか、円滑にワクチンの配送を行えたか、入居者の接種券の送付時期・送付先については適切であったか

* 関係機関への調整はスムーズであったか

- *職員・市民の安全は保たれていたか
- ② 接種予定・実績の集計は接種促進に貢献できたか
 - 「接種予定・実施報告書」の回収・集計は円滑であったか、福祉局への応援体制はどうであったか、事務連絡の発出時期は適切であったか
 - *関係機関への調整はスムーズであったか
 - *職員・市民の安全は保たれていたか
- イ 作業内容：項目ごとに次の内容で CSCA の視点で同時に 2 項目とも意見交換を行う
 - ① 何をしようとしていたのか（業務内容）…ワーキングチームで書き出しておく
 - ② 実際には何が起きていたのか（事象）…よかったこと・課題が残ったこと
 - Best だったのか Better だったのか
 - 解決可能だったのか不可能だったのか
 - ③ なぜそうなったのか（想定される要因）…プラス要因・マイナス要因の抽出
 - ④ 次があるとしたらどのように改善するか（解決に向けた提案）

ウ まとめと提案

作業記録より意見集約

① ワクチン配送計画は接種促進に貢献できたか

- ・施設入居者・従事者分のワクチンを優先的に確保したことで、施設接種の促進につながった。
- ・ワクチン発注受付において、行政オンラインシステムを導入し職員の負担は軽減したが、操作に不慣れな施設は時間がかかっていたため、より操作が簡易なシステム構築が必要である。
- ・ワクチン接種を迅速に進めるために白紙の予診票は有効的であったが、接種間隔の確認不足等による間違い接種が発生した。
- ・有事を前提とした介護施設と行政の連携を容易にするデジタルツールの導入や災害時関連のシステムの活用、またそれらに対する国への支援要求の検討も必要である。

② 接種予定・実績の集計は接種促進に貢献できたか

- ・「接種予定・実施報告書」の回収率 100%を目指すためには、様式をデジタル化していくことが必要である。
- ・また、デジタル化の一方で、施設の事情に応じた事務負担の軽減などの支援ができるような本市の人員体制を確保することが必要である。
- ・さらに施設の事務負担を軽減するために接種記録等の集計業務について、積極的に民間委託の活用を検討する必要がある。
- ・施設側への個別性が高い対応など、パンデミック時の対応を通じて、施設担当者と本市担当者との更なる関係構築の機会となった。
- ・接種医療機関が確保できない施設には本市や大阪府が用意した巡回接種チームが有効的であった。

第13 人員体制・予算・市会関係

1 令和5年2月～令和6年1月の人員体制

令和5年2月から令和6年1月の保健所感染症対策課ワクチン接種等調整チームの人員体制は表1のとおりである。

また、令和6年度のワクチン接種の定期予防接種方針が国から示されたことに伴い、現行の定期予防接種業務との統合に向けて、令和6年1月にプロジェクトチーム（PT）を立ち上げた。

表1 保健所感染症対策課ワクチン接種等調整チーム人員体制の主な変遷（各月末時点の人数）

	R5.2	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.10	R5.11	R6.1
部長級（事務）	1	1	1	1	1	1	1	1	
部長級（医師）	1	1	1	1	1	1	1	1	1
課長級（事務）	4	4	4	3	3	3	3	3	3
代理級（事務）	5	5	4	4	4	3	2	2	2
係長級（事務等）	15	13	12	11	11	11	11	10	10
係長級（保健師）	1	1	1	1	1	1	1	1	1
係長級（薬剤師）	2	1	1	1	1	1	1	1	1
係員（事務）	18	16	15	14	13	13	13	13	12
係員（保健師）	1	1	1	1	1	1	1	1	1
係員（薬剤師）	2	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	50	44	41	38	37	36	35	34	32
PT 課長級（事務）									1
PT 代理級（事務）									1
PT 係長級（事務）									2
PT 係長級（保健師）									1
合計									5

※プロジェクトチーム（PT）の数は、ワクチン接種等調整チーム人員の内数である。

2 予算関係

令和2年度から5年度予算は表2のとおりであり、財源については、全額国庫が充当された。

表2 新型コロナウイルスワクチン接種事業費の推移

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	1,534,674	35,460,658	17,134,036	8,365,661
当初予算	0	16,729,602	11,683,254	8,365,661
		R3.3.26 議決	R4.3.29 議決	R5.3.15 議決
補正予算	1,534,674	5,314,929	5,450,782	—
	R3.1.20 急施専決	R3.6.24 急施専決	R4.12.14 議決	
	—	10,512,651	—	—
		R3.9.30 議決		
	—	2,903,476	—	—
		R3.12.7 議決		
決 算	668,999	27,806,333	13,475,780	—
国庫支出金	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金			

3 市会関係

新型コロナウイルスワクチン接種事業にかかる市会質疑は、表3のとおりである。

表3 新型コロナウイルスワクチン接種事業にかかる市会質疑一覧

日付	会議または委員会名	質問要旨
R2.12.2	民生保健委員会	・ 国からの事務連絡「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施について」を受けての大阪市の対応（予定）、国が予定している接種開始時期や接種回数、接種順位、費用について
R3.2.17	民生保健委員会	・ 集団接種と個別接種のハイブリッド方式を採用した理由について 外3件
R3.2.17	民生保健委員会	・ ワクチン接種に係るスケジュールについて（接種者、コールセンター） 外3件
R3.2.17	民生保健委員会	・ 実施計画における対象者及び接種スケジュールについて 外5件
R3.3.3	本会議（代表質問）	・ 接種券発送後の問い合わせや予約への対応について
R3.3.3	本会議（代表質問）	・ ワクチン接種の進め方について（システム、コールセンター、職員への指示等）
R3.3.4	本会議（代表質問）	・ ワクチン接種の体制について（市民周知、接種会場スタッフの雇用、在宅医療を受けておられる方への接種）
R3.3.10	民生保健委員会	・ 集団接種実施に向けての取り組み状況について 外4件
R3.3.11	民生保健委員会	・ 情報発信について（ワクチンの効果、副反応、接種対象者等） 外3件

新型コロナワクチン接種事業にかかる市会質疑一覧

日付	会議または委員会名	質問要旨
R3. 3. 11	民生保健委員会	・ 高齢者施設入所者へのワクチン接種について 外 4 件
R3. 3. 11	民生保健委員会	・ 集団接種事業の広報・周知について 外 5 件
R3. 3. 12	民生保健委員会	・ 個別接種後のアナフィラキシー等の副反応への対応について
R3. 3. 12	民生保健委員会	・ ワクチン接種への決意 外 7 件
R3. 3. 18	民生保健委員会	・ あいりんシェルター利用者のワクチン接種について（接種券の発送先、住民票のない方の対応、接種体制）
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ ワクチン接種の予約方法について 外 4 件
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ コールセンターにおける接種の誤予約、今後の対応について
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ 大規模接種会場の設置及び運営体制 外 1 件
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ 接種会場及び使用するワクチンについて 外 2 件
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ 接種完了前倒しに対する副市長の認識について 外 6 件
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ エssenシャルワーカーを優先する体制の構築について 外 8 件
R3. 5. 19	民生保健委員会	・ 大規模接種会場について（設置経過、医師の応募状況） 外 1 件
R3. 8. 11	民生保健委員会	・ アストラゼネカ社ワクチンの接種体制について 外 2 件
R3. 8. 11	民生保健委員会	・ ワクチンの接種状況について（高齢者、高齢者以外） 外 4 件
R3. 8. 11	民生保健委員会	・ 若い世代への情報発信について 外 3 件
R3. 8. 11	民生保健委員会	・ 高齢者への接種目標に係る経過、集団接種及び個別接種の実績、高齢者への接種の進捗について 外 6 件
R3. 8. 11	民生保健委員会	・ ワクチンロスの数と接種予定者に対する割合（各区集団接種会場、大規模接種会場） 外 1 件
R3. 9. 22	民生保健委員会	・ ワクチン供給量に対する接種率について国と府で差が生じる理由、本市の現在の全年齢の接種率について 外 5 件
R3. 9. 22	民生保健委員会	・ 20・30代への接種体制、若年層への接種促進のための広報について
R3. 9. 22	民生保健委員会	・ 接種できる医療機関が見つけれない場合の対応について 外 1 件
R3. 9. 22	民生保健委員会	・ 教職員への優先接種について 外 1 件
R3. 9. 22	民生保健委員会	・ 集団接種でのファイザー社ワクチンの利用について 外 2 件
R3. 11. 8	一般決算委員会	・ 3回目接種の開始に向けた体制について 外 2 件
R3. 11. 8	一般決算委員会	・ 3回目接種に向けた接種体制の構築について 外 1 件
R3. 11. 9	一般決算委員会	・ コールセンターへの電話が繋がりにくい状況におけるスマホやパソコンが使えない高齢者に対する対応、3回目接種の対象者数と対応について 外 2 件
R3. 11. 10	一般決算委員会	・ 医療機関におけるワクチン在庫数との把握について 外 5 件
R3. 11. 25	本会議（一般質問）	・ 3回目接種に向けた準備について
R3. 11. 25	本会議（一般質問）	・ 3回目接種に向けた接種体制等について（個別接種医療機関での接種、各区集団接種会場や大規模接種会場、モデルナ会場の設置、個別接種医療機関の公開）

新型コロナワクチン接種事業にかかる市会質疑一覧

日付	会議または委員会名	質問要旨
R3. 11. 25	本会議（一般質問）	・ 新型コロナウイルス感染症に関する差別防止の取り組みについて
R4. 2. 17	民生保健委員会	・ 医療機関におけるVRSの使用状況について
R4. 2. 17	民生保健委員会	・ 追加接種における本市のワクチン供給状況と接種対象者数について ・ 外4件
R4. 3. 3	本会議（代表質問）	・ 18歳以上の方の追加接種の完了目途、接種を進めていくための具体的な取り組みについて
R4. 3. 3	本会議（代表質問）	・ 安心して接種できる小児接種の体制の構築、効果や安全性に関する広報、小児のための専用相談窓口の設置について
R4. 3. 10	民生保健委員会	・ 本市における小児の接種体制及び使用するワクチンについて 外2件
R4. 3. 15	民生保健委員会	・ 外国籍の方への接種券等の送付先、送付書類の表記言語について 外1件
R4. 3. 11	民生保健委員会	・ 市内の接種率が全国平均より低い現在の状況の認識及び今後の取り組みについて 外2件
R4. 3. 14	民生保健委員会	・ 小児への接種券一括送付を行った理由について 外1件
R4. 9. 20	民生保健委員会	・ 初回接種未接種者に対する勧奨について 外2件
R4. 11. 9	一般決算委員会	・ 3回目接種までの接種率について 外6件
R4. 11. 10	一般決算委員会	・ 小児接種における認識について（重症化事例数の推移や専門家見解） 外2件
R4. 11. 11	一般決算委員会	・ オミクロン株対応ワクチンの接種対象者及び接種券について 外2件
R5. 3. 8	民生保健委員会	・ オミクロン株対応ワクチンの接種率について 外1件

結びに

新型コロナワクチン接種については、特例臨時接種として、令和3年2月に医療従事者への優先接種を開始してから約3年の長きにわたり、これまでに前例の無い大規模な予防接種事業として、全国の自治体が創意工夫を凝らしながら実施してまいりました。

本市においても、令和3年度から、希望する市民が接種の機会を逃すことが無いように各区の集団接種と個別接種を組み合わせるとともに、大規模接種会場を設置するなど接種しやすい体制の確保に努めてまいりました。また、高齢者施設においては、クラスター対策に資する重点的な取組も行いながら、幾度となく変異を繰り返すウイルスに即応すべく、追加接種の体制までを確保してまいりました。さらに令和5年度からは、定期接種化を見据えて地域の身近なかかりつけ医での接種に繋がるように、個別接種のみの体制のもと実施してまいりました。

今般、令和5年度の春開始接種と秋開始接種の事業取組を中心に、令和4年度の事業報告書の「続編」として、ここに本報告書を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

これまでの記録が、今後の健康危機管理対策に資するものとなれば幸いです。

最後になりましたが、これまで本市の新型コロナワクチン接種事業にご尽力・ご支援いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和6年3月
大阪市保健所感染症対策課
ワクチン接種等調整チーム

